

# 株式会社タカショーデジテック

〈東京本社〉  
〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-14Expert Tamachi 9F  
TEL.03-6435-2382

〈和歌山本社〉  
〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1  
TEL.073-484-3618

〔拠点・オフィス〕  
仙台オフィス TEL.080-4075-5907  
名古屋オフィス TEL.090-6370-9635  
滋賀オフィス TEL.077-566-3544  
大阪オフィス TEL.06-6940-7911  
奈良オフィス TEL.0745-43-7399  
福岡オフィス TEL.090-9220-8106

商品についての技術的なお問い合わせ専用ダイヤル

タカショーデジテック テクニカルサポートデスク

TEL.073-482-2424

FAX.073-484-3619

受付時間 9:00~17:00(土・日・祭日、GW、夏期・冬期休暇を除く)

ホームページ

URL:<https://takasho-digitec.jp>

E-mail:[info@takasho-digitec.jp](mailto:info@takasho-digitec.jp)



環境大臣認定 エコ・ファースト企業

(株)タカショーデジテックは、エコ・ファースト認定企業として地球環境を守ります。

- 表示価格には消費税および工事費、取付費、運賃等は含まれておりません。
- 価格、仕様、デザイン等を予告なく変更することがありますのでご了承ください。(表示価格は2026年3月現在の価格です)
- 材質、光線等の関係で写真と現物の色が多少異なって見えることがあります。
- 安全にご使用いただくため、当カタログに掲載された写真や図面、取扱の注意文などに沿った商品の使用および施工をお願いします。
- 当カタログに掲載された商品の構造および外観、商品名は「特許法」「意匠法」「商標法」等により保護されています。模倣商品を製造することはできません。
- カタログ(レイアウト)、掲載された画像、イラスト、文章、図面などすべての情報は、「著作権法」に基づき株式会社タカショーが保有しています。無断で複製、改変したものを転載使用することはできません。
- 他の商品との併用において、施工性、アフター等で支障をきたす場合もありますので、当社商品については、必ず当社ブランドであることをご確認ください。
- 本誌に掲載されているすべての情報、写真等の無断転載、複写、複製を禁じます。

発行 2026.03



施設・店舗向け設計/オーナー様向け 2026

## WEBサイト

屋外照明の全てがここに！



ローボルトシステムや商品情報を詳しく掲載しております

[施工例検索]

[商品紹介]



[テクニック紹介]



<https://takasho-digitec.jp/>

タカショーデジテック 検索



## WEBマガジン

“光の今”を配信中！

光の調出で人の心を彩るWebマガジン  
**DIGISPOT**

〈こんな記事を配信中〉

業界のトレンド、事例紹介、最新プロダクト、光のテクニック

<https://takasho-digitec.jp/digispot/>

デジスポット 検索



# 光 INNOVATION 2026

光でイノベーションを起こす

オンシーズンに変える  
光のまちづくり。



[ YABITSU LIGHT UP PROJECT ]  
IFデザインアワード2024  
2023年日本空間デザイン賞 銅賞/  
サステイナブル空間賞  
第57回 日本サインデザイン賞 銅賞



[ Re:SIGN ]  
2023年グッドデザイン賞

INDEX

プロローグ	01
光のまちづくり	03
OUR MISSION	13
実績一覧	15
〈ホテル・旅館〉	
土湯温泉 山水荘	17
和倉温泉	19
黒川温泉 やまびこ旅館	21
下呂温泉 水明館	23
下呂温泉 ころをなでる静寂みやこ	24
軽井沢プリンスホテル	25
Springs Shirarahama	26
〈寺社・旧跡〉	
桑名宗社	35
浅草寺	39
下呂温泉 合掌村	41
泉穴師神社	43
和歌山城	45
旧竹林院	47
長浜鉄道スクエア	48
〈イベント会場〉	
みずほPayPayドーム福岡	49
FeStA LuCe	51
〈施設・店舗〉	
藤枝駅南口	53
ファミマ!!麻布台ヒルズ店	55
帝国座テラス	57
ちかつゆ	59
〈自然・景観〉	
矢櫃	61
白良浜	63
和歌の浦	64
光のまちづくりの流れ	65
光のアイテム	
屋外照明	67
イルミネーション	71
LEDサイン	73
ドローン	75
グループネットワーク	76
会社紹介	77

## 今暗いところを灯す。

光は、人の心を明るくし、感動を与え、人々を引き寄せる力を持っています。

「暗い場所」と聞いて思い当たる場所や状況はありませんか。

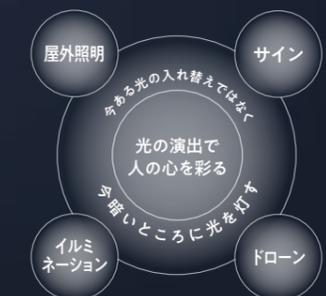
私たちタカショーデジテックは、屋外照明の専門メーカーとして、これまで光が届かなかった場所に明かりを灯し、新たな価値を創造してきました。何もないと考えている場所にこそ、絶景が眠っているのです。

近年、光の価値が再認識される一方で、屋外照明はまだ後回しにされがちな現状があります。「どこから手をつければいいのかわからない」「照明計画が難しい」などのお悩みは、ぜひ私たちにお任せください。

経験豊富な専門家が、お客様の課題に合わせた最適なソリューションをご提案し、あらゆる工程をサポートいたします。



我々のビジョンは「光の演出で人の心を彩る」  
 「今ある光の入れ替えではなく、今暗いところに光を灯す」というパーパスを掲げます。  
 屋外照明、LEDサイン、イルミネーション、ドローン。  
 「今暗いところ」とは単に暗いだけでなく、あらゆる課題や困りごとを意味します。  
 ただ明るくするのではなく  
 その課題に対して「灯すため」の光をご提案いたします。





タカショーデジテックが取り組む「オフシーズン」を「オンシーズン」に変える光の取り組み

# 光のまちづくり



KEYAKI Light Parade by FeStA LuCe  
<https://keyaki-light-parade.jp/>

点灯式では、けやき通りを歩行者天国とし、地域とともに点灯の瞬間を祝い、まち全体でけやきライトパレードのスタートを祝っている。



(左上・右上)点灯式では盛大なダンスパレードが開催され、会場は一気にお祭りムードに包まれる。(左下・右下)交通機関や近隣の飲食店もイルミネーション一色となる。

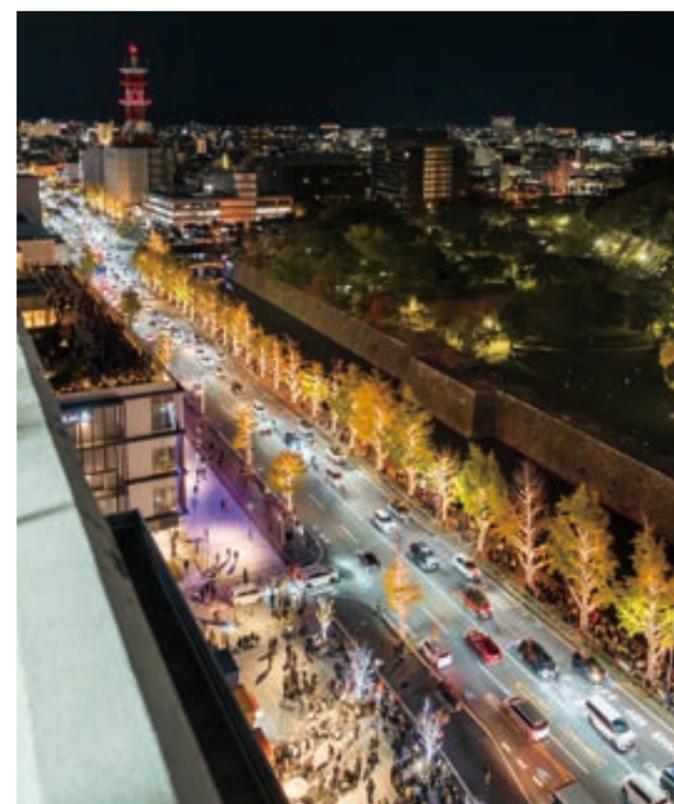
## 光あふれる世界へと変化する「KEYAKI Light Parade」。

タカショーデジテックは2023年度から、JR和歌山駅から和歌山城を通り南海和歌山市駅に続くけやきが植栽された和歌山市のメインストリート「けやき大通り」をイルミネーションで彩る「KEYAKI Light Parade by FeStA LuCe(以降けやきライトパレードと表記)」をスタートさせました。

和歌山県和歌山市の「けやき大通り」は、JR和歌山駅から和歌山城まで約2kmにも及ぶけやきの大木が植栽されたメイン大通りです。和歌山市も全国各地のように市街化が進み、けやき大通りも交通面での機能だけで、人通りは多くありませんでした。そんなけやき大通りにイルミネーションを設置することで、街を活性化できないか考えた弊社代表古澤の発案からこの大規模なイルミネーションのプロジェクトがスタートしました。

開催前は「冬の和歌山に観光客を呼ぶのは難しい」という厳しい声もありましたが、弊社代表古澤が自ら実行委員会を立ち上げ、行政や地元企業を巻き込んだ「委員会方式」による運営を主導し、100社を超える協賛企業を集めただけでなく、クラウドファンディングを立ち上げ、地域全体が「自分たちの住む街を盛り上げたい」という機運

を醸成し、開催に繋がりました。持続可能なモデルとするため、資金調達の面でも独自のスキームを導入しました。数社の大手企業に頼るのではなく、100社以上の地元の縁ある企業や店舗から幅広く協賛を募る手法です。1社が撤退しても継続できる仕組みを作りました。そこには、「一過性のイベントで終わらず、10年、20年と続く街の誇り(風物詩)にしたい」という強い願いも込められ、地元の店舗や企業、そして住民一人ひとりが関わる仕組みができています。協賛企業・住民たちの想いが形となったイルミネーションストリートは、2023年度以降、毎年開催される和歌山市の冬の風物詩となっています。2024年度は100万球、2025年度は和歌山市駅まで1km延長し、130万球のイルミネーションで彩られ日本一に輝きました。イルミネーションストリートには観光客が多く訪れ、2024年度の累計来場者数は約18.1万人、経済効果は約2.1億円にも上りました。観光客が来ることで飲食店や宿泊施設、また交通機関など、取り巻く産業が活性化していきます。光のちからにより、周辺地域への波及効果は観光客にとどまることなく、地域全体を盛り上げていくこととなります。住民が一つとなり動き出した「けやきライトパレード」はまだスタートしたばかりです。



日本一のイルミネーションストリートに! <sup>(※)</sup> /

2024年度

全長2km/100万球

2025年度

全長3km/130万球

(※)一般国道、都道府県道、市区町村道において連続的に取り付けられるLEDの球数として、和歌山けやき大通りイルミネーション実行委員会調べ

累計来場者数(2024年度)

約18.1万人

経済効果(2024年度)

約2.1億円 <sup>(※)</sup>

(※)和歌山大学経済学部足立研究室 調べ




 FeStA LuCe  
<https://festaluce.jp/>

## 「オフシーズン」を「オンシーズン」に変える「FeStA LuCe」。

前頁でご紹介した「光のまちづくり」の原点は、2017年度に和歌山マリーナシティで開催された「FeStA LuCe(以降フェスタ・ルーチェと表記)」までさかのぼります。夏がオンシーズンのリゾート地において、ヨーロッパの街並みを模した「ポルトヨーロッパ」の景観を冬に活用、イルミネーションによって「ヨーロッパのクリスマスへのトリップ体験」を提供した結果、毎年約10万人が訪れる人気イベントへと成長したのです。さらにこのフェスタ・ルーチェは、単発のイベントに留まらず、近隣の観光地や飲食店を回遊してもらって「エリア全体の観光地化」を見据えていました。そのためには周辺地域までをライトアップでつなぐことが不可欠であると行政に働きかけ、これがけやきライトパレードの発端となりました。

フェスタ・ルーチェの立ち上げも舵を取った古澤は「地方には美味しい食事も魅力的な観光名所も揃っている。それにもかかわらず、なぜ人が集まらないのか」と考え、「夜の景色の暗さ」に辿り着きました。イルミネーションを単なる鑑賞用としてではなく、街の課題を解決する「環境の中に築く光のインフラ」と捉え、街を光でつなぐことでフェスタ・ルーチェだけを見て帰ってしまう観光客を街中にもつないでいく、そして街全体が活性化していくことを考えました。光の動線によって周辺地域の回遊を促すことで、エリア全体の活性化を図るという真の狙いがありました。



フェスタ・ルーチェが開催される和歌山マリーナシティはヨーロッパの建築と遊園地。そのポテンシャルを夜は活かすことができていなかったが、イルミネーションによって新たな価値が見出されることになった。

また、光のまちづくりの戦略として大事なのが「光・エサ・蜜」という3つの要素です。人は、「①光(イルミネーション)」のあるところに多く集まります。そして次に大事になるのが「②エサ(グルメ)」です。食を通してイルミネーションを見るだけに留まらない感動があり、またそのことによって滞在期間も長くなります。その上で「③蜜(アトラクション)」という体験が加わることで、より一層のワクワクへと繋がります。そんな楽しい記憶は、「また行ってみたい」という感情へとつながります。その結果、8年間での累計来場者数は約83万人を超え、冬の風物詩となっています。また、その来場者数は、来場者は10代から60代まで幅広く、男女比も偏りなく均等です。世代や性別を越えて、楽しめる光があることが多くの観光客を惹きつける大きな魅力となっている



近年、自社で手がけるドローンショーも追加され、毎年変化を感じられるイベントにリピーターも増加している。



本場ヨーロッパのクリスマスの風物詩を体験してもらおうとヒュッテも開催、寒い中でのあたたかい食事により、より楽しさが増幅する。

## オフシーズンをオンシーズンに変える戦略

フェスタ・ルーチェから始まった戦略は、けやきライトパレードにも応用され、さらに周辺地域の活性化へ繋がっていく。

### 夜に出掛けたい「光・エサ・蜜」の戦略



### 夜をもっと魅力的に演出する「光・エサ・蜜」+アイデアの戦略



## 点から面へと変化させる、 光のコンテンツ増加がもたらす地域の回遊性。

さらに目指すのが、「けやきライトパレード」と「フェスタ・ルーチェ」の各周辺地域だけでなく、それらを繋ぐ一帯が回遊性の中で活性化していくことです。2024年度に和歌山市主催の「和歌山城～光の回廊～」がスタート、和歌山城という観光資源を夜の時間も有効活用すべく、ライトアップに取り組み、弊社が照明計画を手掛けました。そして、2026年には「日本あかり博×けやきライトパレード by FeStA LuCe(以降日本あかり博と表記)」がスタートしています。地方の伝統的なあかりを紹介するこのイベントは、光の原点ともいえる「あかり」を紹介したイベントです。和歌山市への来訪者が、イルミネーションだけでなく観光名所のライトアップやドローンショー、また日本の伝統のひかりを楽しめる観光の幅広さを感じさせるイベントにより、「光のまちづくり」がパワーアップしています。光のコンテンツが増えることで観光客の回遊性が高まり、その流れの中でさまざまな産業が活性化していきます。地域ごとに特色ある食が注目されることで飲食店の収益が向上し、光のコンテンツや食を楽しむために滞在期間が延びることで宿泊需要も増加、移動の活発化による交通機関の利用増加や、観光客の増加に伴うイベント開催などが相乗効果を生み、地域全体を活性化させる成長メカニズムへとつながっていきます。



2026年からスタートした「日本あかり博」、伝統的なあかりを楽しめるイベントに。

## 4つの光のコンテンツで地域に回遊性をもたらす



地域に点在する4つの光のイベントであるが、観光客は点在する様々な光のイベントを回遊する。そして、そのエリア周辺全体の観光地、飲食店、宿泊施設、なども観光客が訪れるようになる。点から面へと、観光客の行動は変化し、地域全体が活性化することに。



2024年度からスタートした「和歌山城～光の回廊～」、すでにある地域資源を活かした事例の一つである。詳細はP.45

## 自分たちが誇れる街へと変える力「光のまちづくり」。

「暮らしている人たちが自分の街を誇れるようになること」、住民が自慢できる街になれば、自然と他府県から人が訪れ、友人を招きたくなる好循環が生まれると考えています。タカショーデジテックは、光のコンテンツを通じて地域自体が誇りを持ち、自らの力で街を盛り上げていく原動力となる仕組みを提供しています。

こうした和歌山市の「光のまちづくり」は和歌山市内にとどまらず、県内へと広がりました。和歌山県南部に位置する関西有数のリゾート地 白浜町です。夏は賑わう一方、秋冬のオフシーズンの集客が課題であった白浜町では、美しい砂浜という自然の資源を利用し大規模なライトアップを実施する「SHIRARAHAMA LIGHT PARADE by FeStA LuCe」が、けやきライトパレードと同じ2023年にスタートしました。観光協会、商工会など、まち全体が一体となって、光での集客に取り組んでいます。また、温泉という観光資源を夜にも活かすために足湯スポットにもライトアップを行い、「光のまちづくり」が進んでいます。

これら、和歌山市と白浜町の「光のまちづくり」は県全体の回遊性を高め、和歌山県全域が賑わう光のまちづくりが始まっています。和歌山県は夏のリゾート地という印象を持たれることが多いですが、「冬に光が溢れる場所」として、冬のオフシーズンにも和歌山県には観光客が多く訪れるよう変化しています。



和歌山県南部に位置する夏の海水浴リゾート地 白浜。この地でも秋冬のオフシーズンをオンシーズンに変える取り組みが進んでいる。

詳細はP.63

# テーマパークや夜の景観活用。 「FeStA LuCe」で新たな価値を見出す。

光のフェスティバル「フェスタ・ルーチェ」は、さらに全国各地へと広がっています。テーマパークなど各地のイベント会場は、ポルトヨーロッパのように、素晴らしい観光資源があるのに冬はオフシーズンになる場合が多いです。また、寺社など素晴らしい歴史的建造物は立地や環境によって暗い印象になることが多く、夜を活かしきれていない場合も存在します。「今、暗い場所に光を灯す」私たちの活動は、今ある資源を活用することで、その資源をより魅力的に演出することができます。そんな光により魅力を引き出された場所に、人は集まります。そして、周辺のあらゆる産業が活性化し、地域全体が盛り上がっていきます。

自分たちの街に誇れるイルミネーションイベントが出来たことで、近隣の駅などの公共施設や商業施設でもイルミネーションをして欲しいという依頼が絶えません。ひとつのイルミネーションイベントから意識が変わり、街は明るく変化します。私たちは「光のまちづくり」を通して魅力を引き出し、これからも地域を盛り上げていきたいと考えています。



## 多くの地域を「オンシーズン」に変えてきた「FeStA LuCe」。

### 1 和歌山マリーナシティ (和歌山県) 2017年-2025年度開催

オフシーズンのテーマパークをオンシーズンに。



フェスタ・ルーチェが初めて開催された。冬のオフシーズンのテーマパークを活用し、来場者数は8年で延べ約83万人にも上り、和歌山の冬の風物詩となっている。

### 2 那須高原りんどう湖ファミリー牧場 (栃木県) 2019、2021年度開催

施設を新たな表情に変化させる光のちから。



建物や遊覧船、アトラクションをイルミネーションやライトアップで彩り、昼間とは異なる魅力を創出。光の演出により、施設の新たな一面を引き出した。

### 3 ロッテアライリゾート (新潟県) 2020年度開催

冬のスキー場を光の力で魅力的に演出。



銀世界に光がきらめき、昼とは異なる幻想的な空間を創出する冬のスキー場のイルミネーション。来場者の滞在価値を高め、ナイトタイムの新たな集客コンテンツに。

### 5 アートホテル成田 (千葉県) 2021年開催

夏のホテルのアウトドアシーンを光で演出。



ホテルの夏のアウトドア空間をイルミネーションで演出。イルミネーションが夏の緑に映え、華やかな空間に。滞在する人を楽しませる光の力。

### 7 松江フォーゲルパーク (島根県) 2022年度開催

美しい植物とイルミネーションが織りなす光。



色とりどりの草花とイルミネーションが融合し、幻想的で美しい空間を創出。テーマパークにちなんだ巨大な鳥のイルミネーションが来場者を魅了した。

### 4 国立公園青森十和田神社 (青森県) 2020-2021年度開催

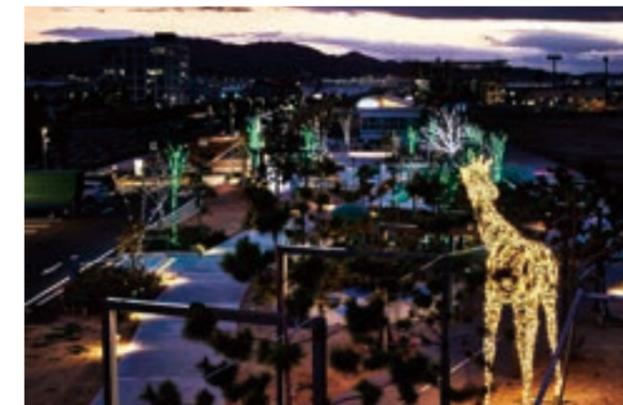
神社の夜の景観を活かすライティング。



国立公園内の美しい景観や歴史的建造物をイルミネーションとライティングで彩る。和とイルミネーションの融合は、イルミネーションの新たな境地も見出す。

### 6 泉南ロングパーク (大阪府) 2022年度開催

冬の海岸沿い複合施設をオンシーズンに変える。



海岸沿いに位置する複合施設。夏は多くの観光客で賑わう一方、冬はオフシーズンとなる。巨大イルミネーションを設置し、新たな集客へ導くことに。

### 8 えひめこどもの城 (愛媛県) 2024-2025年度開催

子どもたちが喜ぶ仕掛け満載のイルミネーション。



園内の建物や広場、樹木を幻想的に演出。昼間とは異なる光の世界を創出し、子どもから大人まで楽しめる特別なナイト空間に。

# 今、暗い場所に光で新たな価値を

# あたえ、地域を盛り上げていく。

どんな地域にも、その土地ならではの資源があります。  
 しかし、夜の魅力が十分に引き出されていない場所も少なくありません。そんな地域の表情を変える力を持っているのが、光です。  
 適切な光のアイテムと演出が新たな息吹を生み出し、観光客の増加を促す。  
 そしてその効果は、飲食・交通・宿泊・イベントなど、地域を取り巻きさまざまな経済活動へと波及していきます。  
 私たちは、まちづくりの構想段階から参画し、多くの事例を積み重ねてきました。  
 ローカルイニシアティブを牽引する「光のアイテム」の提供にとどまらず、屋外光演出のプロフェッショナルとして、  
 地域の特性に応じた「光のかたち」を、空間演出とともにご提案します。



## 「光のまちづくり」

どんなに暗い場所にも、光は新たな価値を生み出します。  
 光が人を惹きつけ、街に賑わいをもたらすとき、  
 その街はオンシーズンへと生まれ変わり、地域の持続的な活性化が始まります。  
 私たちは、これを「光のまちづくり」と呼びます。

光のアイテム P.67～  
 様々な光のアイテムを開発・製造しています






**ホテル・旅館**  
 暗い印象から、魅力的な光でリノベーション。  
 暗い印象になりがちな宿泊施設の夜の景観をライトアップで演出。ロケーションの魅力を余すことなく表現できる光のちからで、集客へとつなげます。




**寺社・旧跡**  
 歴史的建造物の素晴らしさを伝える、夜の光。  
 美しい建造物は、ライトアップによってさらに幻想的に浮かび上がります。建築物のもつポテンシャルを引き出し、夜にも人々が集まる場所へと変化させます。




**イベント会場**  
 オフシーズンをオンシーズンに変える光。  
 オフシーズンのイベント会場をライトアップやイルミネーションで演出、にぎわいあふれる空間へと変化させ、オンシーズンのような活気を創出します。




**施設・店舗**  
 施設の魅力を引き出し集客に繋げる光。  
 施設・店舗の魅力を引き出すのは光です。光があるところに人はにぎわいを見せます。様々な光のアイテムで空間を魅力的に演出し、集客につなげます。




**自然・景観**  
 自然や景観に光の息吹を吹き込む。  
 屋間、ありのままに美しい自然・景観。夜には光をあてることで新たな美しさを見出すことができます。新たな一面を見出した自然・景観は地域の誇りとなります。

# 「光のまちづくり」事例一覧

掲載ページ、または★マークがあるものは、  
右記QRより事例を検索いただけます。



DIGISPOT

## ホテル・旅館

### 土湯温泉 山水荘

光の力で、新たな価値を創る。

→ P.17

### 和倉温泉

光の演出で、街の魅力を再発見。

→ P.19

### 黒川温泉 やまびこ旅館

山間部の旅館を、光のリノベーション。

→ P.21

## イベント会場

### みずほPayPayドーム福岡

人が集まる場所で、思い出に残っていくイルミネーション。

→ P.49

### FeStA LuCe

どんなイベント会場もオンシーズンに変える光のちから。

→ P.51

### 下呂温泉 水明館

歴史ある名館の夜に、新しい“迎え入れる光”を。

→ P.23

### 下呂温泉 ころをなでる静寂みやこ

静寂を照らす光、心を包む空間美。

→ P.24

### 軽井沢プリンスホテル

ここにしかない夜の物語をプリンスで。

→ P.25

### Springs Shirahama

心地よい照明でつながる空間。

→ P.26

## 施設・店舗

### 藤枝駅南口

街の明かりとして、日常に寄り添うイルミネーション

→ P.53

### ファミマ!!麻布台ヒルズ店

SDGsにこだわる店舗で使用される環境配慮型サイン。

→ P.55

## 寺社・旧跡

### 桑名宗社

歴史的景観と夜の滞在価値を高める、光のリノベーション。

→ P.35

### 浅草寺

夜にだけ出会える、浅草寺のもうひとつの顔。

→ P.39

### 下呂温泉 合掌村

歴史的景観と夜の滞在価値を高める、光のリノベーション。

→ P.41

## 自然・景観

### 矢櫃

海辺の秘境「矢櫃」の今を光で伝える。

→ P.61

### 帝国座テラス

光の演出で、まちの賑わいを取り戻す。

→ P.57

### 古道歩きの里ちかつゆ

道の駅をトータルプロデュース。

→ P.59

### 泉穴師神社

光でつくる新たな街づくりがスタート。

→ P.43

### 和歌山城

ナイトタイムエコノミーへと繋がる歴史的建造物のライトアップ。

→ P.45

### 旧竹林院

国の名勝「旧竹林院」夏のライトアップ。

→ P.47

### 長浜鉄道スクエアナイトミュージアム

歴史と光が彩る、日本最古の駅舎ナイトミュージアム。

→ P.48

### 白良浜

リゾート地の新たな集客を創出。

→ P.63

### 和歌の浦

光で伝える、和歌の浦の魅力。

→ P.64



光の力で、  
新たな価値を創る。

# CASE ホテル・旅館

暗い印象から、魅力的な光でリノベーション。

## 土湯温泉山水荘 (福島県)



詳しい内容はこちら

照明ディレクター  
山下匡紀(タカショーデジテック)

### 元来からある景観を光でリニューアル、「今あるものを活かし、価値を高める」。



福島市西部、吾妻連峰の裾野に位置し、荒川上流域の渓谷沿いに大型ホテルや旅館が並ぶ温泉郷、土湯。豊富な泉質と湯量が特徴で、かつては湯治場として人々

を癒やしてきた歴史を誇っています。その一角に佇む「水織音(みおりね)の宿 山水荘」は二段の滝を眺める露天風呂や千坪の日本庭園など、大自然のパノラマと共に楽しめるさまざまな景観を備えています。それら大自然の景観を活かす光のリニューアルをご提案させていただきました。ただ明るいだけの昭和や平成を彷彿とさせる光を、魅せる景観へと変化させ、現代を感じさせるライトアップによりお客様からの好評の声も高まっています。光という付加価値をつけ、美しい景観の中で宿泊への期待を高める、光のリノベーションによって、旅館の価値が高まりました。

#### INTERVIEW



室内の改装が行われましたが、屋外の景観が活かされていないと感じていたとき、タカショーデジテックにご相談をいただきました。「昭和の最後、平成の半ばの照明のあり方だと思っていました、明るすぎて全体的にボヤッと明るい感じだった」と山水荘 常務取締役 渡邊さんは話します。

そこでタカショーデジテックから、景観を活かす光の大規模リニューアルをご提案。活かさずしていた庭園や周囲の自然を活かすことで、室内やレストラン、浴場から今までに見たことのない景観が望めるように。その後、夜のライトアップのSNS投稿が増え、口コミにも好評の声が届いています。

「旅館の価値が高まったことで単価も上がったが、お客様の満足度は衰えることがない」とのお言葉をいただきました。



詳しい内容はこちら DIGISPOT

### ライティング 今ある景観を活かしたライトアップによる光のリノベーション。

元来からある景観を活かすリニューアルをご提案いたしました。雄大な岩肌や暗闇で見えていなかった樹木や滝をライトアップすることで、今までになかった景観を生み出しています。また、千坪の日本庭園には、全体的なライトアップを行うことで、レストランや客室から眺められる景観へと変化しました。「今あるものを活かし、価値を高める」光のリノベーションは、そんな力を持っています。

#### 客室からの眺め

水織音の名に相応しい日本庭園に広がる樹木と雄大な岩肌をライトアップ。暗くて見えなかった庭園が、客室から眺めて楽しめるようになりました。



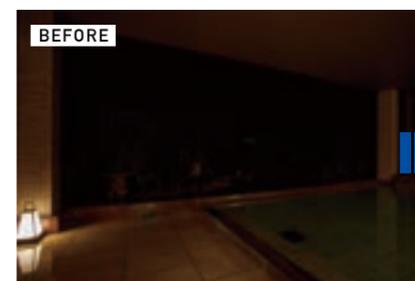
#### 露天風呂からの景色

暗闇で見えなかった樹木と滝をライトアップし、露天風呂に浸かりながら目の前に広がる美しい自然を楽しめる景観へと変化させました。



#### 大浴場

何もなかった場所にリニューアルによって増設された露天風呂には、湯船に入った際の視界の広がりを意識したライトアップを施しました。



# 光の演出で、街の魅力を再発見。



## 名所を彩るライティング、デジテックだからできたトータルプロデュース。

日本有数の温泉街である「和倉温泉」。古くから栄えてきた温泉街だからこそ、「夜の光の少なさ」が悩みでした。ときには「まっくら温泉」とも言われてしまうことも。眠ってしまっている和倉温泉の魅力を、せつかなら夜にも楽しめるようにしようと取り組んだのが、和倉温泉の街全体を彩る照明計画です。

和倉温泉街に夜も楽しめる魅力をつくり出すため、今回ライトアップに携わったのはまちづくりを手掛けてきた経験があるライティングデザイナー。2022年4月から10月までの約半年もの時間をかけ、照明計画を提案しました。プランニングでは、これまでのまちづくりの経験を活かした光の演出やテクニックを組み込んだ照明計画を提案するだけでなく、屋外照明器具の設計開発の技術も活かし、その場所に最適な光を灯すための取付架台の器具も設計しました。また、正しく照明器具を施工できるように設置方法まで資料として手配し、施工後には点灯確認に立ち会い、より理想の空間に近づけられるように演出の細部にまでこだわりました。屋外照明のさまざまなプロフェッショナルチームが存在する「タカショーデジテックならではの」空間演出に仕上がりました。



## ライティング 夜でも温泉を楽しめる「湯っ足りパーク」。

七尾湾を眺めながら無料で足湯を楽しめる和倉の人気スポットである「湯っ足りパーク」。メインスポットである足湯施設「妻恋舟の湯」は、樹木たちをライトアップすることで、足湯をしながら楽しめる景色が生まれ、施設の印象も明るくなりました。また、遊歩道にある背の高い松の並木をしっかりとライトアップし、美観をつくることはもちろん、集客効果も期待できるライトアップに仕上がっています。

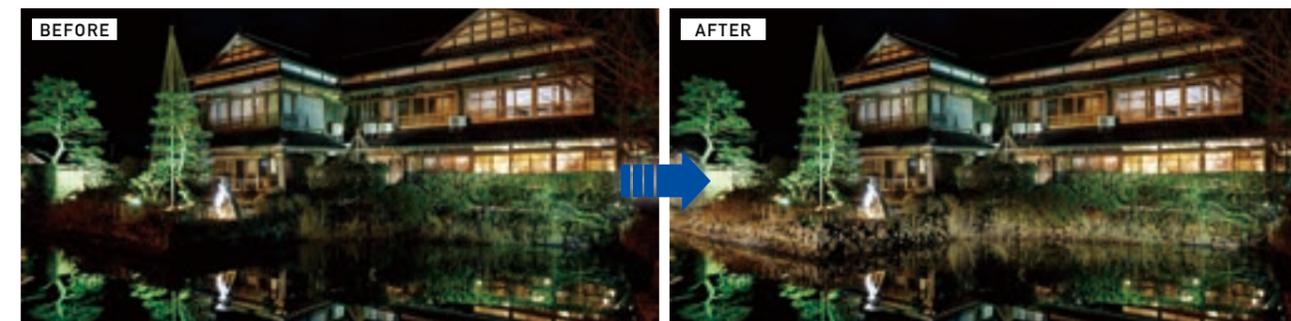


足湯施設「妻恋舟の湯」

遊歩道の松の並木

## ライティング 歴史的な遺産を味わう「渡月庵の石垣」。

渡月庵が建てられている「石垣」は歴史的にも古い建造物です。そんな石垣だけを均等に照らすことで石垣自体を美しくみせながら、静かな水面に渡月庵と石垣を浮かび上がらせました。また、周辺の住宅にも配慮し、眩しさも抑えたライトアップを施しています。



石垣だけを均等にライトアップし、水面に渡月庵と石垣を浮かび上がらせた

## ライティング 人が集まる橋へと生まれ変わった「和倉源氏ノ海ホテル橋」。

海ホテルをテーマに、使われていない橋を新たな観光スポットとして再生。青い光をベースにまるで海ホテルが橋の上を舞っているかのように演出。また、訪れた人が橋を通して楽しんでもらえるよう、人が通ると光の色が変わる仕掛けも施しました。



和倉源氏ノ海ホテル橋の様々な色の変化

テーマカラーの検討

ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観

ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観

# 山間部の旅館を、光のリノベーション。

照明ディレクター  
山下匡紀 (タカショー デジテック  
Creative Lab.)

## 黒川温泉やまびこ旅館 (熊本県)

DIGISPOT



詳しい内容はこちら

### INTERVIEW ライトアップで、旅館の良さを新たに発見することができました。



黒川温泉  
やまびこ旅館  
女将  
武田祐佳さん

#### ■「湯あかり」で光に興味を持つ

黒川温泉の冬の季節に、竹で作った灯籠を川に浮かべ、温泉街を幻想的に演出するイベント「湯あかり」があります。冬イベントとなれば、寒さで苦情も起こると思われるところが、寒いというマイナスの感情よりも、美しさに惹かれる気持ちが勝り、イベントは成功を納めています。そんな光景を見ながら、女将である武田さんは、「光って凄いいんじゃないか」という光の力を実感、「やまびこ旅館ライトアップをやってみよう!」という感情が湧いてきたそうです。

#### ■暗くて怖い露天風呂

お客様から、「露天風呂が暗くて怖い」というお話をいただいていた。「露

天風呂のライトアップは、明るくしすぎると外から見えないという欠点があるんです、それでも山に囲まれたうちの露天風呂は暗すぎるので雰囲気良くしたい。その他、お食事棟から宿泊棟へ移動する際、廊下は明るいけど周りの木々の景色を活かしきれていないことが気になっていたそうです。

#### ■わかりやすい提案とデモンストレーション

「照明について素人で、流行りの間接照明が良いと聞いても、どこに照明を当てたらいい? どういう風にしたら良いか全くわからない」。どこに依頼するかを検討していたとき、タカショー デジテックが実際にデモンストレーションでのライトアップを実演したことで、イメージが湧きやすかったとのこと。想像以上に素晴らしいライトアップが完成し、今まで気づかなかった旅館の良さを見つけ、「光」の力を感じるリノベーションになったそうです。



照明セッティングイメージを提案

### ライティング 「暗い・怖い」が、「きれい・素敵」へ変化する光のリノベーション

山間部ならではの「暗い・怖い」というお客様の感想が、光のリノベーション後には、今まで見ることでできなかった夜の景観の美しさへと変化し、宿泊の喜びに繋がりました。また、第一印象となる玄関を、宿で過ごすこれからの時間への期待感が高まるようなライトアップで演出。さらに夜の歩行を助けるための足元の照明は、機能的な光の役割も果たしています。

#### 露天風呂

「暗くて怖い」と言われていた露天風呂。奥の樹木を照らすことにより、間接的な明るさを確保しながら、魅力的なライトアップに。



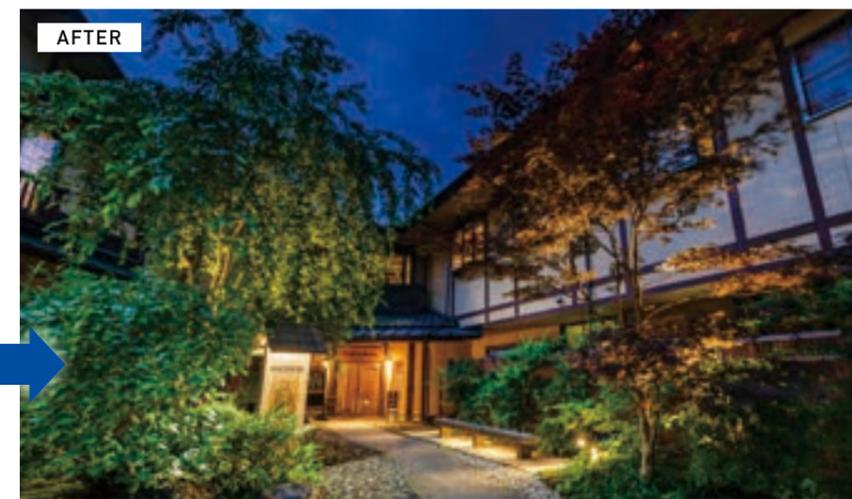
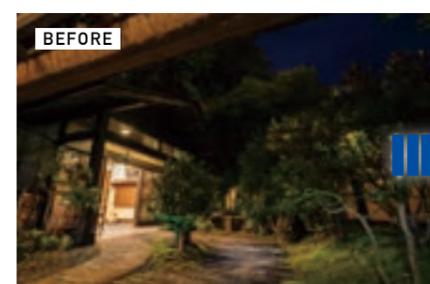
#### 玄関

周辺の樹木を照らすことで、全体的に明るく、美しい空間へと変化しました。また夜の歩行を助けるために足元への照明も追加しました。



#### 中庭

宿泊棟からお食事棟への移動する時間も美しいライトアップでお客様をおもてなせられるよう、中庭の樹木を光で演出しました。



# 歴史ある名館の夜に、新しい“迎え入れる光”を。



## 下呂温泉水明館 (岐阜県)



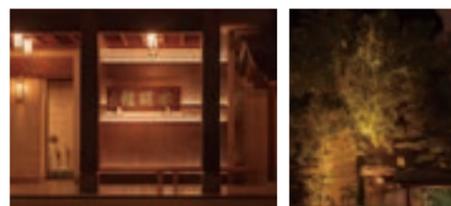
照明ディレクター：山下匡紀(タカショー・デジタル)  
 工事：杉浦電気工事株式会社

### これまでの歴史と、これからを照らす光と空間のトータルプロデュース。

岐阜を代表する大型旅館・水明館。2022年、コロナ禍の渦中で観光業界が大きな転換点を迎えた時期に、弊社営業が行った一つのアプローチが、このライトアッププロジェクトのはじまりでした。当時は宿泊施設向けの補助金が活用できる時期だったこともあり、「この機会に環境を整えたい」という想いととも、水明館様から“エントランス・プールサイド・日本庭園の三つを改善したい”というご相談をいただきました。その中でも最優先で進んだのが、旅館の顔である エントランスのライトアップ でした。

### ライティング 千本格子 × LEDバーで、陰影のある和の表情を

エントランスに採用したのはタカショーの千本格子。そこにLEDバーを組み合わせ、格子の陰影を際立たせる光を設計。軒が深く日中は暗く見えがちなエントランスを、チェックイン時間の15時から美しく見せられるライティングを意識しました。壁面の茶褐色に合わせて電球色の光を選定し、旅館にふさわしい落ち着いた温かみを演出。さらにエントランス前の大きな樹木もライトアップし、夜間の“シンボルツリー”として存在感を持たせています。



千本格子とLEDバー シンボルツリー

### サイン “厳かな看板”と対になる、導光板サイン

水明館の重厚感あるメイン看板に対し、反対側には上品に光る導光板サイン DIGITEC SIGN BOARD を採用。サインそのもののデザインも弊社で担当し、「どの形状・どの光り方が空間にふさわしいか」をパースで比較しながらご提案しました。光の見え方とサインの読みやすさをそろえ、入口全体がまとまって見えるように設計しました。



エントランスのライティング

# 静寂を照らす光、心を包む空間美。

## ライティング VIBIAの美しさと自然が調和する、隠れ家のような空間演出

下呂温泉 ころをなでる静寂みやこのオーナー様とは展示会で出会い、光の効果に対して深く関心を持っていただきました。ヒアリングさせていただいたところ図面がなく複雑な構造でしたので、まずは現地へ赴き現場調査から進めました。オーナー様からは「お食事処から庭の眺めをよくし、外を歩きたくなるような空間にしてほしい」との要望もあり、空間演出のイメージ資料を提出した際、VIBIAの美しいデザインや雰囲気が評価され採用されました。「お食事処から庭の眺めを…」とのことでしたので、窓辺近くに光溜まりを作ることで、「ライトアップされている」と認識しやすくすると同時に、視線を庭へと誘導する工夫を凝らしました。庭提案の際には、デッキに合わせ、LEDバーなどの間接照明を多用。艶やかで隠れ家のような雰囲気を演出しつつ、段差に気付かせるなど、安全面の向上にも取り組みました。また、足元を柔らかい光で照らす「かぎろい」は、実際に配置してみると、土台部分が黒く景観に馴染まなかったことから、加工した木材と組み合わせて設置しました。その他にも自然を感じられるライトアップでは、石に生えた苔を照らす光や、紅葉するカエデを美しく引き立てる光のシューティングを行い、四季折々の変化を楽しめるライトアップとなりました。VIBIAの配置に関しては、オーナー様自らが積極的にアイデアを出してくださり、全体的に繊細な仕上げを実現しました。



特注仕様のかぎろい

VIBIA



四季折々を楽しめる光のシューティング



## 下呂温泉 ころをなでる静寂みやこ (岐阜県)

照明ディレクター  
 山下匡紀(タカショー・デジタル)



ここにしかない夜の物語を  
プリンスで。

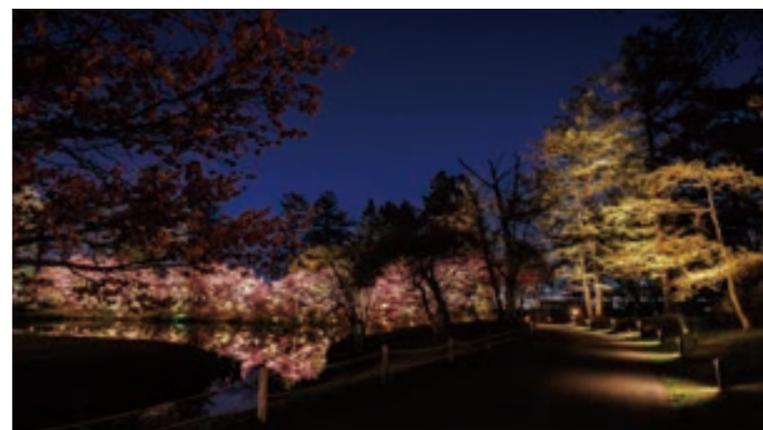
## 軽井沢プリンスホテル (長野県)

照明ディレクター  
山下匡紀(タカショー・デジテック)

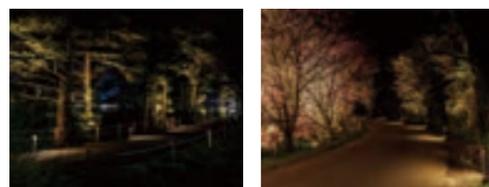
### ライティング 「絶景はプリンスにある。」を体現する照明計画で価値を創造

長野県軽井沢に位置するリゾートホテル「軽井沢プリンスホテル」。その広大な敷地と美しい自然に囲まれた環境は、多くの訪問者に癒しと感動を与えています。現在、この魅力的なホテルでは、新たな価値を生み出すプロジェクトが進行中です。その一環として計画されているのが、池のほとりを中心としたライトアッププロジェクトです。この計画は、当社ディレクターが現地調査で感じた自然の豊かさや感動を反映し、「絶景はプリンスにある。」というホテルのブランドメッセージに重ね合わせて提案しました。プロジェクトの鍵となったのは桜の存在です。桜が咲くエリアをメインに据え、季節ごとの変化を楽しみながら散策できる特別な体験を提供することを目指しました。特に注力したのは、照明の明るさや配置でした。「軽井沢プリンスホテル」内の壮大な敷地内に光の導線を

作り出すため、当社独自の「エバーアートポールライト」を採用しました。このライトはウッド調のテクスチャを持ち、昼間は自然に溶け込み、夜は柔らかな間接光で道を誘導します。また、現地調査の際に、散策路に設置された看板が暗くて見えにくいという課題が浮かび上がりました。この問題を解決するため、昼夜を問わず高い視認性を持つウッド調のLEDサインを制作。これにより、宿泊者が迷うことなく散策を楽しめる環境を整えました。さらに、照明計画を拡大し、四季折々の魅力を宿泊者に届けるための第2期工事も進行中です。この取り組みによって、軽井沢プリンスホテルならではの夜の物語をお楽しみいただけることでしょう。ぜひ、特別なひとときを軽井沢プリンスホテルでお過ごしください。



明るすぎず安全に歩行できる心地よい照明をご提案



エバーアートポールの間接光が心地よく散策路を誘導します

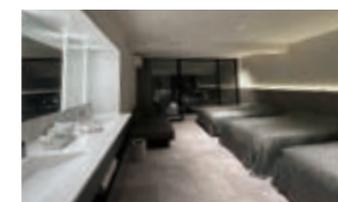


昼夜の視認性と景観を配慮しウッド調のLEDサインを採用

## 心地よい照明でつながる空間。



屋外照明



室内照明



ライティングフェイス



LEDサイン



ファニチャー

ライティング サイン 建材 ファニチャー

### 屋外と室内を繋ぐ照明計画

「Springs Shirahama」はリノベーションにより2024年10月にオープンした、南紀白浜に位置する滞在型ホテルです。このプロジェクトはオープンの2年前前に「このホテル全体を心地よく過ごせるような空間にしたい」と依頼をいただいたことからスタート。そのため、屋外だけでなく、室内の照明計画も担当させていただきました。屋内外を繋いで、一体感を持たせるために、全体のマスタープランとして「明るさの変化を緩やかにする」ことを先に設定し、各エリアの照明計画を実施。その中で「サバンナ効果」と呼ばれる、動線の奥のエリアを明るくすることで進みたくなるような心理効果を利用することで、夜も心地よくお客様を迎え入れるようにしております。また、室内はグレアレスタイプのダウンライトの採用や、明るすぎない照明計画を行うことにより、ミラー効果(窓に室内が映る現象)を抑えた設計にしています。それにより、夜でもカーテンを閉めずに室内と外が繋がる開放的な時間を過ごせるようにしております。また、「Springs Shirahama」では照明だけでなく、LEDサインやファニチャー、デッキ建材など、様々なアイテムの計画を設計事務所様と協業いたしました。



## Springs Shirahama (和歌山県)

照明ディレクター  
花田諒(タカショー・デジテック)

# 「光のリノベーション」でホテル

# ・旅館の集客へとつなげます。

ホテル・旅館

ホテル・旅館

寺社・旧跡

寺社・旧跡

イベント会場

イベント会場

施設・店舗

施設・店舗

自然・景観

自然・景観

## Q1 ひと昔前のライトアップになっていませんか？

## Q2

**BEFORE**

ひと昔前のライトアップ

**AFTER**

プロジェクト紹介をチェック!  
P.17-64

## 屋外照明のお悩み ございませんか？

最近のホテル・旅館は、ライトアップが凝っているが...



光の価値がわからない

P.29



現代風の旅館にリノベーションしたいけど...

リノベーションの予算がない

P.31



メンテナンスが手間

P.70



電気代がかかりそう

P.70



虫が集まりそうで心配

P.70



どこに相談したらよいか分からない

P.65



低コスト

予算を抑えたリノベーション！  
期待以上の効果に！

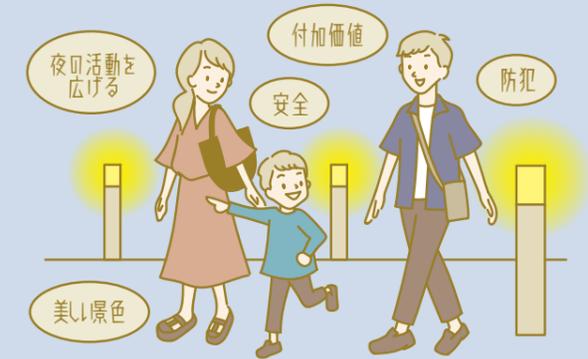
建物や空間そのもののリノベーションに比べると、屋外照明のリノベーションは低コストに抑えられ(P.31~34参照)、大規模工事することなく、ホテル・旅館を運営しながらリノベーションできるメリットがあります。  
光による空間の演出で、魅力的なイメージへとステージアップしてみませんか。



満足度

美しさだけではない  
「光がもたらす効果」。

ライトアップには、「心地よい美観を創り出す」だけでなく、「夜の活動空間を広げる」「視界を確保し、人を安全に迎え入れる」「犯行を抑制する」「新たな付加価値を生み出す」など、美しさだけにとどまらないたくさんの効果があります。  
光を入れることで、お客様に感動を与え、滞在の満足度を高めることができます。



「光のリノベーション」が導く集客への効果。

ただ、美しくなるだけではありません。ライトアップには、色々なメリットがあります。

気軽にリノベーションできる「光のリノベーション」で想像以上の効果を体験しませんか。



広告効果

画像で伝わる魅力、  
ライトアップで選ばれる宿に！

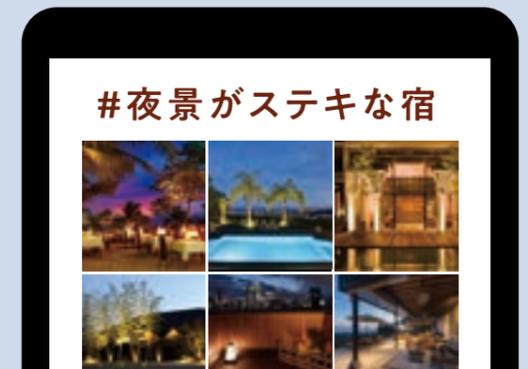
広告効果をアップさせるなら、キレイな夜景の画像や動画がおすすめです。ライトアップで彩られた空間は、日中とは違ったラグジュアリーな美しい空間を演出できます。  
光の演出や景観によって、旅先での非日常な時間をお客様におもてなしできるでしょう。



口コミ

素敵な夜景で「SNS拡散」  
継続的な集客に！

最近ではスマートフォンで夜景を美しく撮影でき、SNSや口コミから、ホテル・旅館の認知度が高まるケースが多く見られます。  
シェアしたくなるような素敵な夜景が、集客へと繋がるポイントになります。



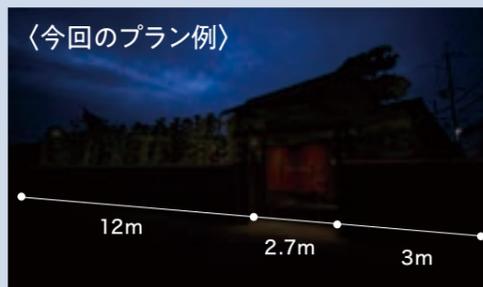
# 光のリノベーションプラン例

ご予算に応じ、魅力的な集客効果のある照明プランをご提案いたします。

## CASE1 エントランス ENTRANCE

### 「エントランスのライトアップ」のポイント

宿泊の第一印象を決めるエントランス。植栽や看板、壁などをライトアップするだけで、建物の印象が大きく変化します。植栽や壁は、ライトアップが行われていない例も多く、ライトアップすることで、費用をかけずに施設の「光のリノベーション」を行うことができます。



暖簾のあるエントランスに、長い塀と植栽があるプラン。ライトアップが際立つアイテムが多い。

## 魅力的なライトアップにつながるワンポイントアドバイス

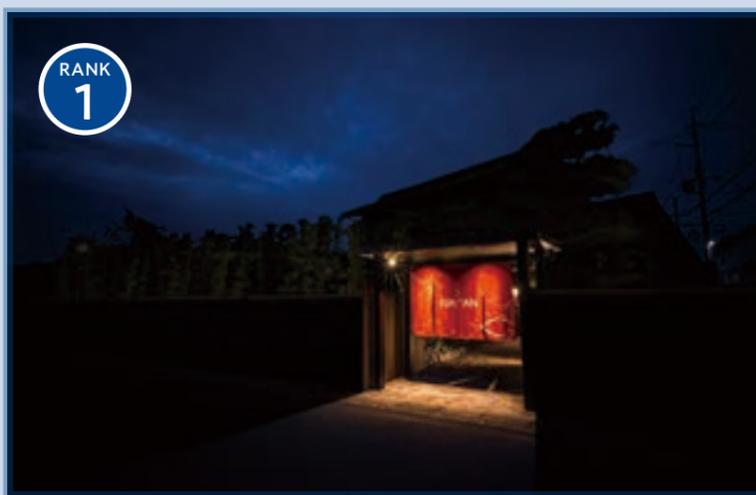
ご依頼時にまず考えていただくのは、光のイメージと予算感です。『どのエリアが暗くて困っているか』『どんな雰囲気になりたいか』『ご予算の目安』など、ご希望をお伝えください。また、『いつまでに完成させたいか』『電源が近くで取れるか』『点灯/消灯管理の自動化』など、運用面まで含めたイメージを共有していただくことで、運用時にご担当者様の負担が少ないプランのご提案が可能となります。



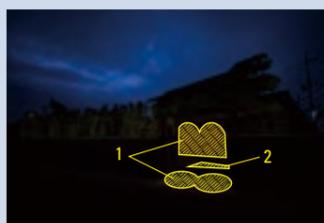
予算は、**¥300,000**くらい  
あと、自動点灯も!

## 入り口・アプローチを照らす

施工費含む  
合計金額 **¥182,000** (税抜)



入口/アプローチを照らすことで、来客へのスムーズな案内と、動線の安全を確保することができます。

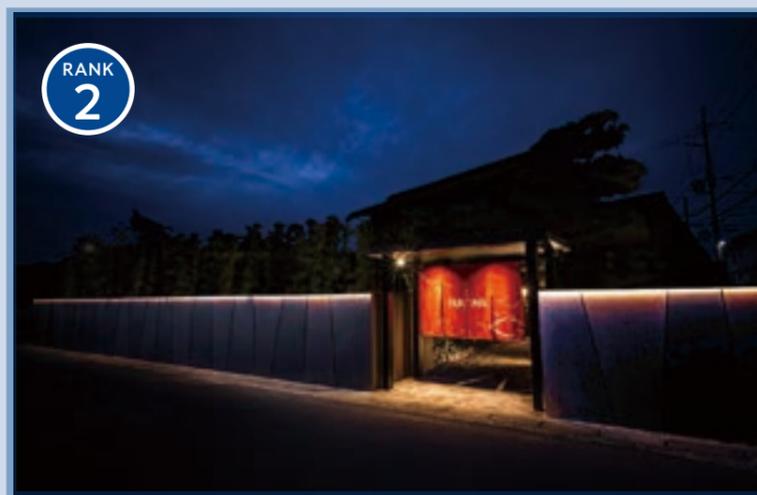


使用商品	単価	使用数
1 ダウンライト2型ユニバーサル	¥38,000	2
2 DIA-30 ボールスポットライト H200 ダブルアジャスト	¥28,000	2
-	-	-
-	-	-

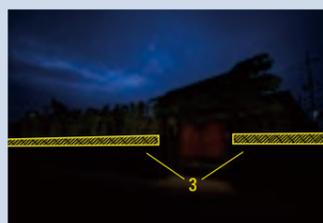
施工費 ¥50,000

## 壁を照らす

施工費含む  
合計金額 **¥427,000** (税抜)



壁面に光を入れることで、エントランスまでの動線を安全に照らしながら、モダンな印象をより強く与えます。

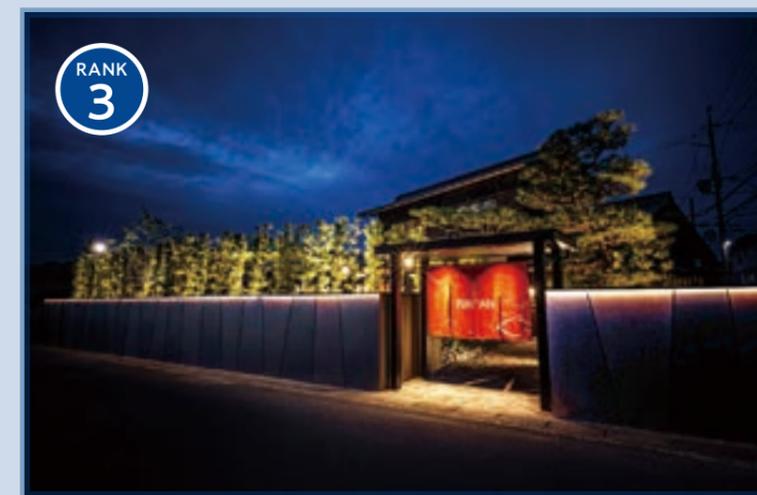


使用商品	単価	使用数
1 ダウンライト2型ユニバーサル	¥38,000	2
2 DIA-30 ボールスポットライト H200 ダブルアジャスト	¥28,000	2
3 フレキシブルLEDバー 低W 3000 レール付	¥39,000	5
-	-	-

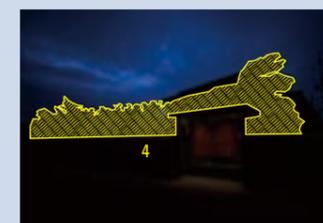
施工費 ¥100,000

## 樹木を照らす

施工費含む  
合計金額 **¥757,000** (税抜)



植栽をライトアップすることでファサードの存在感を高め、お客様が写真をシェアしたくなるような華やかな光の演出になります。



使用商品	単価	使用数
1 ダウンライト2型ユニバーサル	¥38,000	2
2 DIA-30 ボールスポットライト H200 ダブルアジャスト	¥28,000	2
3 フレキシブルLEDバー 低W 3000 レール付	¥39,000	5
4 ガーデンアップライト ルーメック スリム M 広角	¥40,000	7

施工費 ¥150,000

【プラン例について】

●P.31～34に掲載しています価格は、参考例に対する価格となります。施工空間に合わせて、また、ご予算に応じたライトアップをご提案いたします。●掲載の全商品の価格には、消費税は含まれておりません。

【施工費条件】

●1次側電気工事は含まれておりません。●日中1日施工での算出となっております。●露出配線での算出となります。埋設配管配線の場合は別途加算が必要となります。

CASE2 内庭 INNER COURT

「内庭のライトアップ」のポイント

内庭といっても、大規模な庭園から坪庭レベルの小さい空間など様々です。規模やコンセプトに合わせて、様々なライトアップの方法があります。例えば、樹木を演出したり、足元の砂利をライトアップすることで印象的な空間に。また、スポットライトなどを上から照らすことで、空間全体を照らす方法もあります。



ゆったりとした坪庭。メインとなる樹木や足元の砂利は、ライトアップの演出で際立つアイテム。

空間を照らす

施工費含む 合計金額 **¥158,000** (税抜)



使用商品	単価	使用数
1 ウォールスポットライト ルーメック L	¥54,000	2
2 -	-	-
3 -	-	-

施工費 ¥50,000

樹木を照らす

施工費含む 合計金額 **¥308,000** (税抜)



使用商品	単価	使用数
1 ウォールスポットライト ルーメック L	¥54,000	2
2 ガーデンアップライト ルーメック スリム M 広角	¥40,000	3
3 -	-	-

施工費 ¥80,000

アクセントを加える

施工費含む 合計金額 **¥376,000** (税抜)



使用商品	単価	使用数
1 ウォールスポットライト ルーメック L	¥54,000	2
2 ガーデンアップライト ルーメック スリム M 広角	¥40,000	3
3 華蛸	¥16,000	3

施工費 ¥100,000

CASE3 露天風呂 OPEN-AIR BATH

「露天風呂のライトアップ」のポイント

露天風呂のライトアップは落ち着いた雰囲気をつくるのがポイントです。浴槽まわりの壁や植栽を照らすことで、眺める景色となったり、明るすぎない光を確保してくれます。また、低電圧で事故の心配のないローボルトシステム(詳しくはP.69-70)は、露天風呂や池など、水回りのライトアップにも適しています。



周囲を囲む竹垣や植栽は、ライトアップしやすく、ライトアップで和風の雰囲気を高めてくれるアイテム。

空間を照らす

施工費含む 合計金額 **¥54,000** (税抜)



使用商品	単価	使用数
1 エクスレッズ スタンドライト 3 型	¥24,000	1
2 -	-	-
3 -	-	-

施工費 ¥30,000

低い位置を照らす

施工費含む 合計金額 **¥226,000** (税抜)



使用商品	単価	使用数
1 エクスレッズ スタンドライト 3 型	¥24,000	1
2 連(れん)	¥76,000	2
3 -	-	-

施工費 ¥50,000

樹木を照らす

施工費含む 合計金額 **¥376,000** (税抜)



使用商品	単価	使用数
1 エクスレッズ スタンドライト 3 型	¥24,000	1
2 連(れん)	¥76,000	2
3 ガーデンアップライト ルーメック スリム M 広角	¥40,000	3

施工費 ¥80,000

[プラン例について]

●P.31~34に掲載しています価格は、参考例に対する価格となります。施工空間に合わせて、また、ご予算に応じたライトアップをご提案いたします。●掲載の全商品の価格には、消費税は含まれておりません。

[施工費条件]

●1次側電気工事は含まれておりません。●日中1日施工での算出となっております。●露出配線での算出となります。埋設配管配線の場合は別途加算が必要となります。

CASE

# 寺社・旧跡

歴史的建造物の素晴らしさを伝える、夜の光。

DIGISPOT



詳しい内容はこちら

## 歴史的景観と夜の滞在価値を高める、光のリノベーション。



照明ディレクター  
甲斐 淳一 (タカショー デジテック)

## 桑名宗社 (三重県)

### 戦後初の大改修と、夜の参拝を見据えた光の演出。

約1900年もの歴史を持つ桑名宗社は、戦後初となる大規模改修に合わせ、夜間の参拝環境を整えるためのライトアップを導入しました。今回の計画では「歴史ある佇まいを損なわずに、夜でも安心して歩ける境内」をテーマに、光の演出と夜の導線づくりを同時に進行。地域に根付く神社としての役割を高めることを目的とし、建築・周囲の自然・参拝動線のバランスを丁寧に考えながらライトアッププランを構築しました。光は単に照らすだけでなく、美観・機能・安全性・防犯・地域価値の向上という複数の役割を担い、来訪者と地域をやさしくつなげる存在として配置されています。

### ライティング 内照が作り出す、楼門の穏やかながらも厳かな存在感。

宮司からの最初の依頼は、象徴的な楼門を明るく照らすことでした。ライティングデザイナーからは、外から明るく照らすのではなく、内部に明かりを配し、陰影と共に立体的に浮かび上がらせ、提灯の明るさを下げ、バランスをとる事を提案。更に文化財保護対策として、固定金具を使わず、火災リスク低減のため、ローボルト照明を提案しました。外照手法は、平面的に見えてしまいがちですが、内照手法は、日本特有の社寺建築の構造美を際立たせ、明るさを抑える事で、木鼻(きばな)、垂木(たるき)などの細部の造形や屋根の反りがふわりと浮かび上がり、建築の息づかいが感じられる、省エネ効果も兼ねた効果的な照明手法です。穏やかなあかりでありながらも「神社の顔に相応しい風格を感じる」存在感が生まれ、参拝者をお迎える象徴的な楼門に仕上がりました。



HBB-D98K( 39°/6.5W/2700K)+リサイクロック

### ライティング 神聖なる「ひかりの参道」。

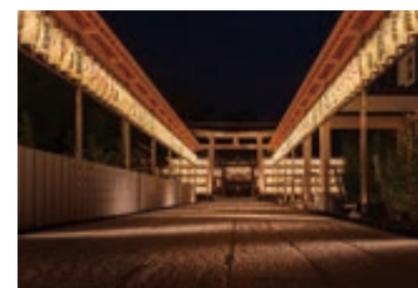
主参道は、楼門から拝殿へと続く神聖な道でありながら、夜間の明るさ不足が課題でした。そこで、通りから見ても思わず導かれるかのような「ひかりの参道」を提案。「神様と参拝者と地域」を繋ぐ、連続する幻想的な光のリズムで、初めて夜に訪れる人も安心して、自然と神前へと足を運ぶことができる計画としました。しかし、微妙なR曲線の参道に対するライティングは容易ではなく、遠くで生じるグレア、設置高、照射角に微細な調整と現場協力が不可欠で、台座となる石材のカットや、光の角度を何度も調整。結果、段差や石畳が確認しやすく視認性の高い、安全、且つ神聖で幻想的な「ひかりの参道」が完成しました。



LumeK-Ladvice(17°/13W/2700K)

### ライティング 光の繋がりで境内の回遊性を高めた照明計画。

境内には複数の建物やエリアがあり、特に裏参道への回遊性を、連続した流れるような光のイメージと陰影で繋ぎながら、境内全体の統一感と、穏やかな明るさの抑揚を創出するゾーニング計画を施しました。楼門や拝殿は、提灯との照度と輝度バランスに配慮しながら適度な明るさを確保し、参拝者が正面に立った時に、荘厳さを感じられるよう光を調整。今まで暗かった、外壁・駐車場・裏参道・社務所にも適度な光を灯し、防犯性と視認性を確保し、全体の繋がりをつくりました。特に駐車場は「夜間でも安心して停められる」「暗い場所を歩かなくて済む」という点で、住民からの評価が高く、地域にも大きく貢献する結果となりました。ライトアップによって境内の奥行きや広がりわかりやすくなり、夜の参拝もしやすい「やさしくも荘厳な光の境内」を実現しています。



主参道



本殿



外壁



裏参道



社務所周辺



駐車場

### 施工後の反響

ライトアップ後の境内について、不破義人宮司は「地元の人は安心すると言ってくれる」「夜でもきれいで入りやすい場所になった」と語っています。夜8時頃でも子ども連れで参拝する姿が見られたり、境内に照明が行き届いたことでお賽銭泥棒が減るなど、防犯面でも効果が出ているとのこと。また、お祭りの日の夜には参道で写真を撮る人の姿が多く見られ、光が地域の日常に溶け込んでいることがうかがえます。

INTERVIEW

# 桑名宗社（春日神社）

荘厳で美しい神社建築。夜の帳が下りると静寂と共に一際神聖さを増すその姿は、ライトアップによってさらに幻想的に浮かび上がります。三重県桑名市では約1900年の歴史を誇る桑名の総鎮守「桑名宗社」が20年に一度の神宮式年遷宮・御樋代木（みひしろぎ）奉迎送行事に向け、戦後初の令和の大改修工事を実施。タカショー・デジタルがそのライティングデザインに携わらせていただきました。

桑名神社と中臣神社の2つの社を併せ持つ全国でも珍しい形の神社であり、「伊勢国の最初の神社」と言われる桑名宗社。その格調をいかに光で表現し、どのような意図でデザインしたのかなど、今回のライトアップに際しての話を、不破義人宮司（以降：不破宮司）とタカショー・デジタル代表の古澤良祐（以降：古澤）、そして担当したライティングデザイナーの甲斐淳一（以降：甲斐）に伺いました。



## 戦後初の改修工事を迎えて

改修も何度か行われてきたかと思いますが、特に今回はこういった部分に力を注がれたのでしょうか？

**不破宮司** 今回の改修のきっかけとなった御樋代木奉迎送行事は、伊勢神宮でもっとも重要な20年に一度の式年遷宮に際し、そのご用材「お祝木」を奉祝する一連の行事。今回はその大役に向け、誰もが過ごしやすい境内を目指して令和の大改修を計画しました。実は桑名の地は戦争で一度全部焼けてしまっているんです。本当に徹底的に焼かれて何もなくなってしまったところから、当時の人たちがその後約60年程で神社の形を整えてきた。でも60年かけて少しずつ作っているもので統一性がないんです。ひとつの敷地の中に鉄筋もあって木造もある。でも建て替えはできないので、しっかりと道を整備して、境内の一体化を目指したというのが今回の改修のメインでした。

**甲斐** 光を取り入れようとなったのも境内を整えることの一環ということですね。

**不破宮司** そうですね。加えて、ちょうどコロナ禍の時に参拝を分散させようと、夜の参拝を推奨したというのがあります。その時に寄贈の提灯を募ったら最初は100個ぐらいだったのが500ぐらいに増えていって、結果的に夜の参拝がすごく評判がよかった。これからの時代に夜という時間や「光」が大事なツールとなってくると感じました。

**古澤** 1日のうちの夜の時間ってすごく長いのに、なかなか使われてこなかったんですね。海外では「ナイトタイムエコノミー」と言って夜という時間をすごく大事にしている。そこがコロナを経てようやく日本でも見直されるようになったんじゃないかと思っています。京都なんかまさにそうですね。オーバーツーリズムで昼の人の流れをどうやって分散させるか。そうすると夜という時間がすごく大事になる。地方を出歩きたい場所にする事で新しい機会が生まれる。だから、日本全体でいま光に対して見直しが起こっているように感じています。

**不破宮司** 先代宮司だった父の引退によって私が宮司を継ぐこととなった当時は、地域がもっと過疎化していたんです。でも可能性はあると感じていました。時代に逆らってみたく、まだまだやりたいことはある。そこからこの神社をどうしていきたいか、ある程度のプランを立てたんです。それが「30分程度滞在できる神社にしたい」。そのキーとなるのが「光」でした。

## すべての光にこめられた想い

**不破宮司** 地元の人は安心するって言ってくれていますね。きれいだし入りやすいとか、夜食事を終わらせた後に案内できる場所ができたとも。

**古澤** 桑名はせっかく歴史あるまちなので、こんな風に夜に行けるところがあるといいですね。

**不破宮司** 夜8時くらいでも子どもを連れてお参りにきてくれたら嬉しいですね。10時で提灯の灯りは落ちますが、それ以外は朝まで明るく点灯しています。主参道以外も境内に照明がついたことでお賽銭泥棒も減りましたし、防犯面でもよいこと尽くしです。お祭りの日に参道でみんなが写真を撮っているのを見ていいなあと思いましたね。

**古澤** 光には「美観」と「機能性」と「防犯」と「安全」と「価値」がありますから。その5つがフルに発揮されていますね。

**不破宮司** まさにそうですね。「30分程度滞在できる神社にしたい」と思った時に、敷地は広げられないし、看板をたくさん立てるのは嫌。じゃあどうするかですね。神社は心地いい空間を感じてもらいたい場所だと思っています。由緒とかそんなのは後回しでいい。心地よさを作るには、光ってすごく大事なんです。たとえばろうそくの光って「非日常」。提灯もそう。8月に催している石取祭では提灯が何百個と灯りますが、この全てに神様が宿っているものにしなないといけない。光に想いをこめると価値がグッと上がります。今回のライトアップでも見えないものに価値をつけていただいたと思っています。

実際にライティングされた境内を見ての感想をお聞かせください。

**不破宮司** もうちょっとできるところはあったかもしれませんが、今できるベストかなと思っています。それに、これで終わりじゃない。また動かしながら、そのうちちょっと遊ぼうかなと考えています。

**甲斐** 年を重ねるに連れ、地域に根ざした灯りや地域貢献できる、歴史に残るとか、そういう心の拠り所になる光を大事にしたいと思っているので、宮司の協力でもっといい灯りづくりができたと思っています。

**不破宮司** 神社はまちの中心にあるべきだと思っているんです。まちづくりの拠点というか、サロンのような役割で、人が何気なく集って、行けば誰かがいるといううな。いつか町中を灯りで繋いで活性化したいですね！

**古澤** ということはどちらかという地域の方に来ていただきたいということでしょうか？

**不破宮司** 最終的には地域の方でしょうか。でも外からいろんな方が来ていただけていい循環が生まれればと思っています。そのためにも空間づくりにますますこだわっていききたいと思います。

**古澤** 楽しみにしています。今日はありがとうございました。



古澤良祐

Ryosuke Furusawa  
株式会社タカショー・デジタル 代表

不破義人

Yoshihito Fuwa  
桑名宗社（春日神社）宮司

甲斐淳一

Junichi Kai  
株式会社タカショー・デジタル ライティングデザイナー

より詳細なインタビュー記事はDIGISPOTからご覧いただけます。



神様と地域への想いを光でつなぐ  
桑名宗社 次世代への歴史的大改修



# 夜にだけ出会える、 浅草寺の もうひとつの顔。



## ライティング 五重塔×水面×スカイツリー。フォトスポットを強化。

とくに要望が強かったのが、「五重塔が水面に映るエリア(右の写真)」と「スカイツリーと一緒に撮影できるエリア(左の写真)」。観光客がスマートフォンで撮影しても「映える」よう、現場で実際にスマホ撮影を行いながらライティングの角度・明るさ・色温度を細かく調整しました。マッピングで色が変わる五重塔に対しては、ライトアップ側は明るくしすぎず、暗くしすぎず、紅葉した樹木をしっかりと照らすトーンに。光が強すぎてマッピングが負けないよう、光量のバランスを丁寧にコントロールしています。



昼間の写真



撮影する人々

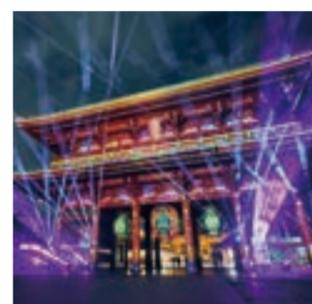


五重塔のミラーライティング

## ナイトタイム観光を支える、マッピング×ライトアップの特別演出。

国内外でプロジェクションマッピングを手掛ける株式会社一旗様よりご依頼をいただき、浅草寺にて開催されたナイトタイムコンテンツ「ASAKUSA CULTURE & LIGHTS 2025」における“光の演出”を担当しました。映像表現を担う「マッピング」と、寺院全体の雰囲気デザインする「ライトアップ」で構成された企画のうち、今回タカショー・デジテックはこの期間のみ特別に解放された伝法院庭園の光の演出を担当。寺院のライトアップでは、歴史的価値をもつ寺院の建築美を、夜だからこそ引き出せる新たな表情として際立たせました。庭園のライトアップでは、伝法院庭園特有の静けさや侘び寂びの美しさを尊重しつつ、昼間でも美観を損なわないよう、和風ライトを採用。コード処理も、景観と安全性を両立するための繊細な工夫を施すなど、文化財としての浅草寺と、その景観を守りながら実現したライトアップ計画となっています。

実際にシューティングの際は、観光地として常に多くの人が行き交う浅草という立地特性を踏まえ、導線の安全性、周囲の建物からの光の影響など、夜間景観に特有の条件も細かく検証しながら光の配置を検討しました。さらに浅草寺周辺は都市光が多く、夜でも空が明るいいため、一般的な寺院ライトアップとは異なり光と影のコントラストが出にくいという課題があります。そこで、“陰影の深さ”を活かすことに重点を置き、光源の角度・距離・照度を繊細に調整。過度に明るくするのではなく、建築の凹凸が自然と立ち上がる程度に抑え、歴史的建造物としての荘厳さを維持しつつ、夜間ならではの奥行きと深みを感じられる光の表現を追求しています。



プロジェクションマッピングの様子



伝法院庭園のライトアップ

## 施工後の反響

イベント期間中は多くの観光客が訪れ、五重塔や水面のフォトスポットではスマートフォンで撮影する姿が常に見られました。SNSでも写真が多数投稿され、ライトアップの効果が広く波及しました。



# 歴史的景観と夜の滞在価値を高める、光のリノベーション。



## 下呂温泉 合掌村 (岐阜県)

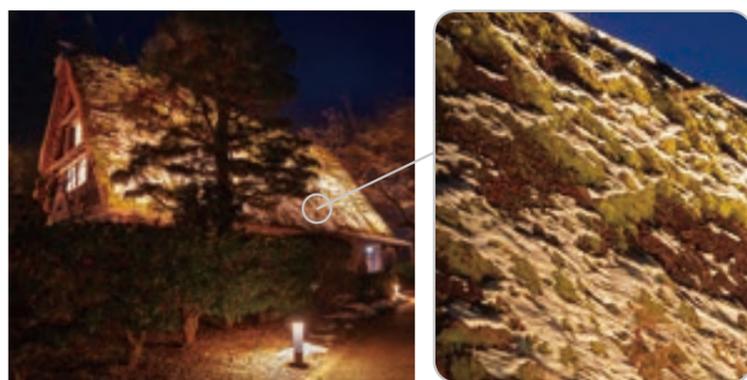
照明ディレクター：山下匡紀(タカショーデザインテック)  
 工事：杉浦電気工事株式会社

### 土地柄や景観を守りながら、夜の魅力を引き出す光。

白川郷や飛騨高山など、周辺に著名な観光地が点在する下呂市。合掌村はその立地特性から、訪れる人が「通り過ぎてしまう」という課題を抱えていました。夜の滞在時間をもっと伸ばし、地域の魅力を発信したい——。その地域の想いを受け、光による観光価値向上とを目指した照明の仮導入からスタートし、最終的に常設でのリニューアルプロジェクトになりました。既存の水銀灯によるライトアップは眩しさや維持コストの課題があり、LED化によって夜間景観を根本から見直す必要がありました。現地視察で印象的だったのは、合掌造りが“月や星と共に佇んできた”質素ながら趣き深い風景。その記憶に寄り添い、空への光漏れを極力抑えた設計を行いました。

### ライティング 苔屋根が浮かび上がる、静かな存在感を引き出す光。

合掌造りの特徴である深い軒と苔むした屋根は、昼間と夜でまったく異なる表情を見せます。とくに屋根の苔は、光が当たる角度で立体感が劇的に変わるため、照射角・明るさ・範囲を細かく調整しながら、自然な陰影と深みを表現しました。「派手に照らす」のではなく、「素材が本来持つ表情をそのまま見せる」ための光。夜間の静けさを損なわず、歩く人がゆっくり景観を味わえるよう、光の強弱を抑えつつも、苔の輪郭や木組みの陰影が穏やかに浮かび上がるようにまとめています。



苔屋根のライトアップ

### ライティング エントランスまでをつなぐ“導線の光”

ライトアップの効果を最大化するためには、建物そのものだけでなく、来訪者が夜の施設内を歩いて楽しむ体験も重要な要素となります。今回の計画では、エントランスまでの道のりが迷わず進めるよう、連続性のある導線を形成しました。前年に実験も兼ねて行った冬イベントでは、トーチバススタンドをツリースポットで代用し、足元に光を落とす実験的な照明を実施。実際の歩行者の反応や眩しさ、光の届き方を確認し、常設化に向けて最適な光量と方向性を検証しました。今回の整備では、補助金採択により常設プランが採用され、合掌造りの雰囲気に調和する“カゴメ模様のトーチバススタンドライト”を正式導入。景観の情緒を守りながら、上方向への光の照射を抑制でき、夜間の安全性と視認性を高めています。



トーチバススタンドライト

トーチバススタンドライトで照らす、様々なアプローチライティング

### ライティング 昔ながらの情景を損なわず、グレアを抑えた常設照明。

初回イベントで得た改善点を活かし、2回目の施工では照射位置と光量をさらに最適化。特に合掌屋根への光が強すぎると平面的に見えたり、眩しさが発生する可能性があるため、丁寧に調整しました。結果、建物の立体美と陰影がより豊かになり、夜の村全体に静けさと奥行きが生まれています。また、光源が視界に直接入らないよう、照射方向を細かく調整し、訪れる人へ“光があるのに眩しくない”体験を提供。歴史的建築物の価値を守りながら、夜間景観を向上させる照明計画となりました。



1回目のイベント開催時のライトアップ

2回目の常設ライトアップ

### “照らす”から“寄り添う”へ

光が風景に寄り添うことで、その土地の“本来の姿”がふたたび見えてくる。今回の合掌村のライトアップは、そんな原点に立ち返るプロジェクトになりました。照らすための光ではなく、佇まいを支える光。観光地としての魅力だけでなく、地域の人々が大切にしてきた景観や空気感を守りながら、夜の滞在価値を高めていくアプローチです。段階的な検証を経て、眩しさを抑えた照明計画へと移行したことで、合掌造りの質感や苔の美しさが静かに引き立ち、日中とは違う表情が現れました。光が“演出”から“環境”へと変わることによって、地域が夜にもたやす可能性はまだ大きく広がっています。



現在の合掌村の様子

光でつくる  
新たな街づくりがスタート。



## 泉穴師神社 (大阪府)

照明ディレクター  
花田諒 (タカショー・デジタルテック)  
山下匡紀 (タカショー・デジタルテック)

### 企画 泉大津市—歴史と文化を彩るライトアッププロジェクト

歴史的景観を残す情趣あふれる泉大津のまち。紀州街道の海側に並行して走る浜街道には江戸中期以降の町家建築が数多く残り、工場を象徴するのこぎり屋根や虫籠窓、厄除けの神様とされる鍾馭様が鎮座する屋根飾りなど、貴重な建築様式を見ることができます。ところが、こういった歴史的価値やまちの趣を知る人はそう多くありません。2025年に開催される大阪・関西万博も控える中、もっと市内内外への魅力発信を行って行くために考えられたのが2024年特別イベントの開催やライトアップ・イルミネーション装飾による、まち全体の活性化でした。具体的には3つのフェーズで段階的な展開を計画。まずは市内の基軸を見据え、市民に認知してもらいやすい場所を選定し、市内の企業や商店と連携しながらのライトアップで基礎認知向上を狙います。その上で次のフェーズではそこを中心に徐々に点灯場所を増やし、点在するポイントを結ぶようにまち全体に回遊できる仕組みを作ります。決まった時期に定期的にライトアップを行うことで、季節の風物詩として浸透させ、外

からの誘客へと繋げていければと考えました。そして最初のライトアップポイントに選ばれたのが、泉穴師神社。夫婦の神様を祀る由緒ある神社で、市の天然記念物にも指定されているクスノキをはじめ、大木が茂る境内は「泉穴師神社の森」として大阪みどりの百選にも選ばれています。この「泉穴師神社の森」内には、ひときわ大きな御神木がそびえ立っていましたが、2018年の台風21号の被害で根っから倒木してしまいました。倒れてしまった御神木は、推定樹齢600年。古くから泉穴師神社と共に生き、近所の学校の校歌にも登場するほど地元で愛され、歴史の証人だった大きなクスノキでした。一度は処分も検討されましたが、地域の関係者や泉大津市長を交えて議論を重ねた結果、災害遺産として後世に残す決断をされたそうです。今回のライトアップでは、そんな御神木の魅力を引き出すのも課題の一つでした。



台風により倒れてしまった御神木を  
カラーライトで幻想的に演出



### ライティング ワークショップで泉穴師神社ライトアップを実施

タカショー・デジタルテックは、泉穴師神社のライトアップに際し、社員が現場を深く理解するためのワークショップを実施しました。営業、製造、管理部門など異なる部署から18名が参加し、4つの混成チームを編成。現場リサーチや照射実験、設営までを4回にわたり行いました。照明ディレクター指導のもと、現場での試行錯誤を通じて、「光の演出で人の心を彩る」というビジョンを体感。参加者からは「現場での経験を今後の提案や商品開発に生かしたい」といった声が上がっており、大きな学びの機会となりました。



### 社会課題の解決に寄与する取り組みを創出。泉大津市と「包括連携協定」を締結

株式会社タカショー・デジタルテックと泉大津市は、相互の連携強化を図ることで、社会課題の解決に寄与する取り組みを創出し、地域社会の発展と市民サービスの更なる向上に寄与することを目的として、2024年11月13日(水)に連携協定を締結し大阪府泉大津市にある泉穴師神社にて調印式を行いました。タカショー・デジタルテックの光と、泉大津市がもつ地域資源を活用し、泉大津市の活性化・交流人口・関係人口の拡大に向け、よりよい地域の共創を目指してまいります。



ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観



# ナイトタイムエコノミーと繋がる 歴史的建造物のライトアップ。

## 和歌山城 (和歌山県)

照明ディレクター  
山下匡紀 (タカショー・デジタルック)  
花田諒 (タカショー・デジタルック)

### ライティング 和歌山城公園内への導線をつくるライティング

2024年11月、和歌山城が新たな光の魅力と、夜の街を彩るライティング「和歌山城～光の回廊～」がスタート。  
ナイトタイムエコノミーの創出を目的として、今まで暗かった和歌山城公園をライトアップし夜間活用を促す取り組みです。そのため、我々は単純に美しく照らすだけでなく、四季の変化や歴史の継承・伝達を含め、多くの仕掛けを込めた照明計画を行いました。  
和歌山城は桜の名所、観光スポット、イベント、地元の方の散歩コース、様々な用途として親しまれており、加えて石垣や大手門、一の橋などの多くの文化的資源を保有しています。  
そのため、大手門や石垣などの文化的資源をライトアップし、夜ならではの表情・魅力を創出することで、「夜に訪れる価値」が生まれると考えました。その中でもポイントとしたのが一の橋のライティング。  
大通り沿いに位置する、この橋を美しくライティングすることで、ライトアップに気づいてもらい、内部への誘導性が高まると考えました。  
加えて、様々な用途のある和歌山城、例えば、イベント時には特別感を、桜の時期には桜が最も美しく見え、秋には紅葉が美しく見えるよう、RGB照明で様々なプログラム演出を行えるよう考案しました。  
また、歴史的な価値を伝えるため、和歌山城内の説明案内板にも

光を取り入れ、導線に設置した和風ライトには、別注で徳川家の家紋を入れるなど和歌山城の歴史的な価値を伝えるようにしております。

ポイントとしたのは和歌山城公園内への入口となる一の橋の側面へのライトアップ



冬のけやきライトパレードから和歌山城へ誘導する

一の橋のライティング

### ライトアップを見るために県外から宿泊してきている方も

「和歌山城～光の回廊～」は、既に宿泊も兼ねて見学に訪れる方がいっしょったり、夜間の散歩として散策される方が増えたりするなどすでに効果が見え始め、これからのさらなるナイトタイム活性化が楽しみな取り組みとなりました。  
2年目にして早くも話題のスポットとなりつつある「和歌山城～光の回廊～」地域の新なる観光資源として、和歌山の夜を魅力的に彩っていきます。



和歌山城へと誘導する一の橋

敷地全体を誘導する和風ライトには徳川の家紋

夜ならではの石垣の表情を光で演出

季節にあわせたカラーでのライトアップ

埋め込みできない場所では石の上にライトを設置

和歌山城の周りも明るくライトアップ

### ドローンショー 陸だけでなく空も同時に。光の演出で多くの人の心を彩ります



「虎伏城」と呼ばれた和歌山城にちなんだ絵柄や協賛企業名などが上空に次々と展開されました



株式会社ドローンショー・ジャパンと技術提携によるアライアンスパートナー契約を締結



唯一の国産ドローンショー専用機「unika(ユニカ)」の組み立て

このライトアップはけやきライトパレードの開催に合わせてスタートし、点灯式ではタカショー・デジタルックと提携する株式会社ドローンショー・ジャパンのドローンが空からも光で演出し、多くの観光客を魅了しました。

ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観

# 国の名勝「旧竹林院」 夏のライトアップ。



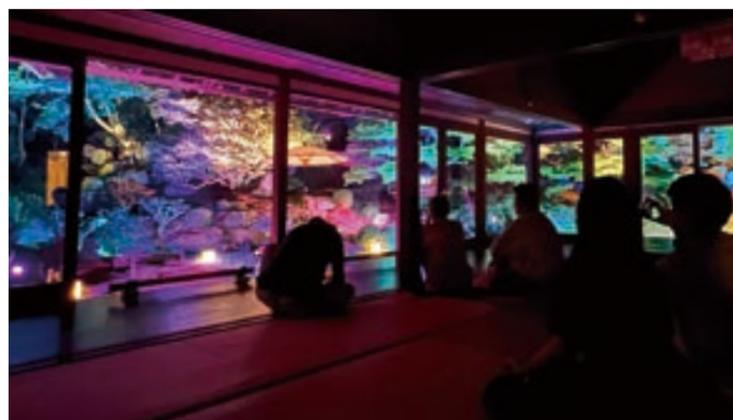
旧竹林院 (滋賀県)



照明ディレクター  
山下匡紀 (タカショー・デジタル)

## ライティング 「山滴る夜のものがたり」 季節や空間に合わせた光と音の演出。

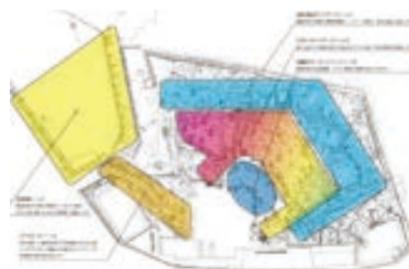
旧竹林院では紅葉のライトアップが有名ですが、今回新たに夏のライトアップ「山滴る夜のものがたり」が開催されました。夏山を表現する「山滴る(やましたたる)」という季語をテーマに、カラーライティングと音楽を組み合わせた光のショーを提案。既存のライトも有効活用しました。その内容は、ライティングが音楽に合わせて様々な色彩にテンポ良く変化し、没入感のある体験型ライトアップで、フォトスポットとしても知られる旧竹林院では、ゆったりとしたBGMが流れる中での通常演出も織り交ぜ、写真撮影のしやすさも考慮し、約3分の楽曲にまとめました。音楽と光の調和にこだわり、現地で2日間かけて調整を重ね、細部まで作り込むことでコンセプトを見事に表現。もともと滋賀の一部のローカルのメディアにしか広告していないライトアップ企画でしたが、SNSで話題となったこともあり、カメラの愛好家をはじめ多くの来訪者に喜んでいただき、大津の新たな魅力を発信する場となりました。



SNSで話題となり、多くの方が来訪



特殊フィルタなどを取り付けた器具



ライティングプラン

# 歴史と光が彩る、 日本最古の駅舎ナイトミュージアム。

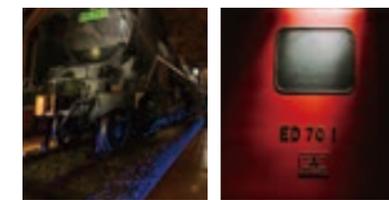
## 光で蘇る鉄道の歴史



長浜鉄道スクエアでは、日本最古の現存する駅舎である旧長浜駅舎を舞台にしたナイトミュージアムが開催されました。ローボルト仕様の照明器具が採用され、安全性と施工の利便性を両立し、手軽に配線作業が可能であることや、さらに漏電時の発火のリスクを大幅に低減できることから、文化財である旧長浜駅舎という貴重な建物に対する安全対策も万全に施されたライトアップが行われました。

## ライティング 鉄道車軸のライトアップ

青色のLEDバーを用いて夜の幻想的な雰囲気を演出したり、スポットライトで機関車の立体感を際立たせたりするために光の配置を綿密に計画しました。



## ライティング 駅舎外観のライトアップ

文化財である駅舎の外観ライトアップでは照明器具の土台部分を新たに制作し、置くだけの施工に。アプローチのライトアップでは、入口の壁面にも光を当てることでサバナ効果を活かし、来場者の期待感を高める工夫が施されました。



照明ディレクター  
山下匡紀 (タカショー・デジタル)

長浜鉄道スクエア  
ナイトミュージアム (滋賀県)



# イベント会場

オフシーズンをオンシーズンに変える光。

人が集まる場所で、  
思い出に残っていく  
イルミネーション。

## みずほPayPayドーム福岡 (福岡県)

### 始まりは、閑散期を盛り上げるためのイルミネーション

プロ野球のオフシーズンは、ドーム周辺の人通りが落ち着きやすい時期でもあります。みずほPayPayドーム福岡のイルミネーションは、そうした「閑散期をどう盛り上げるか」という課題意識からスタートしました。野球の試合がない冬の時期でも、人が訪れるきっかけをつくりたい。ただ照らすだけの装飾ではなく、足を運ぶ理由になる光をつくるのが目的でした。イルミネーションは次第に、野球ファンだけのものではなく、家族連れ、友人同士、カップル、そしてライブやイベントで訪れる人たちまで、誰もが気軽に楽しむ「街の光」としての役割を担っていきます。訪れた人が自然と写真を撮り、SNSで共有し、「また来たい」「誰かに教えた」と思える。そんな循環を生み出す存在として、みずほPayPayドーム福岡のイルミネーションは育ってきました。



### みずほPayPayドーム福岡 イルミネーションの歴史

このイルミネーションが始まったのは2020年。2020年7月にはエンターテインメント施設「BOSS E・ZO FUKUOKA」が開業。福岡をもっと盛り上げたいという流れの中で、その冬にイルミネーションが実施されました。当初(2020年～2021年)は、設置エリアも限られており、「みんなのガーデン」を中心とした小規模な展開。ホークス選手の写真パネルを配置し、フォトスポットとして楽しんでもらうなど、野球ファン向けのイルミネーションとして、手探りでスタートでした。しかし、このエリアは野球ファンだけでなく、福岡市内の多くの人が日常的に目にする場所でもあります。そこで次第に、「野球場を彩る光」から「街にひらかれた光」へと、考え方がシフトしていきました。毎年継続して実施することで、イルミネーション自体の価値も高まり、設置エリアはドーム周辺へと段階的に拡大。2022年にはマークイズ福岡ももちとの連絡橋にもイルミネーションが施され、みずほPayPayドーム福岡を起点に、地域全体へ広がる光の回遊動線が生まれました。

### エンタメと連動し、進化し続けるイルミネーション



このイルミネーションの大きな特徴は、エンターテインメントとの親和性の高さにあります。単なる季節装飾ではなく、その時々でこの場所で生まれる出来事や感情と重なり合いながら、体験の一部として存在してきました。ピンクフルデーなどの社会的イベントでは、「ドーム全体をピンク色に染めたい」という思いから、多彩な色表現が可能なライティングシステムを採用。レインボーカラーの再現や、繊細な色の切り替えも実現し、光そのものがメッセージを持つ演出が可能になりました。また、ライブ開催時にはアーティストごとの「推しカラー」を光で表現。来場者がペンライトや推しグッズと一緒に写真を撮る光景も多く見られ、イルミネーションは「見に行くもの」ではなく、自然と体験に溶け込む存在へと変化しています。担当者からは、「盛り上がっている写真の中にイルミネーションが写っていると、やってよかったと感じる」「遠方から訪れた方が、イルミネーションと一緒に思い出を残してくれているのを見ると嬉しい」といった声も聞かれます。光が主役になるのではなく、人の記憶にそっと入り込んでいることこそが、この取り組みの価値です。さらに、みずほPayPayドーム福岡は海に近い立地のため、施工時には風への配慮が欠かせません。ワイヤーでしっかりと固定するなど、安全性と演出性の両立を図りながら設置されています。こうしてイルミネーションは、訪れる人の時間に寄り添いながら、街の賑わいととも毎年少しずつ進化を続けています。

### イルミネーション 数多くの大型イルミネーション「LIMITED」シリーズ



ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観

ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観



企画 地方都市で開催されるイルミネーションイベントで地域を活性。

2017年より和歌山から始まった光のフェスティバル「フェスタ・ルーチェ」。初開催の和歌山マリーナシティは、夏には多くの人でにぎわうリゾート地でありながら、冬はオフシーズンとなるイベント会場でした。ヨーロッパさながらの街並みや遊園地を有するその会場のポテンシャルを最大限に引き出すため、イルミネーションやライティングによって新たな魅力と価値を創出しました。

その結果、地域に愛されるイベントとして毎年10万人近くの来場者が訪れ、地域全体を明るく照らす冬の風物詩として定着。現在では全国各地でも開催され、閑散期だったイベント会場に多くの観光客が訪れるなど、まちの活性化にも大きく貢献しています。

イベントでは、私たちが提供するさまざまな光のアイテムが活用されています。自社製造による一貫体制で高品質な製品を届けることで、会期中も安心して「フェスタ・ルーチェ」を楽しんでいただける環境を支え、その信頼が次の開催へとつながっています。



自社製造のドローンを使用したドローンショーも開催

ライティング 新たな魅力を引き出すライトアップ

ライトアップはあらゆる空間、対象を演出できます。建造物や植物をライトアップすることで、昼間とは違った幻想的な世界が広がります。



その場所に元からあるものを光でライティングさせることで幻想的な空間を演出に

イルミネーション 幻想的な世界を創出するイルミネーション

イルミネーションは装飾にとどまらず、空間のアイキャッチモチーフとなります。何も無い空間であっても華やかな印象に変化させることができます。



RGBで光が変化するイルミネーション「Twinkly」

巨大モチーフのイルミネーション「LIMITED」でダイナミックな空間に

LEDサイン 自在にひかりを形にするLEDサイン

自由に光をデザインできるLEDサイン。ロゴデザインやフォトスポットなども、忠実にデザインを再現します。



レトロさを演出するネオン管風サイン

ロゴの再現性を叶えるLEDサインの光

フォトスポットにもLEDサインが対応



CASE

# 施設・店舗

施設の魅力を引き出し集客に繋げる光。

## 街の明かりとして、 日常に寄り添う イルミネーション

### 藤枝駅南口 (静岡県)

#### 熱い想いから生まれた光

藤枝駅南口に降り立つと広がる、圧倒的な光の世界。今や冬の風物詩として定着したこの景色は、実は一企業の粋を超えた「熱い想い」から生まれています。このイルミネーションは、地元の協賛企業による「この街を盛り上げたい」という情熱によって実現しました。その目的は、単なる観光客誘致に留まりません。何よりもまず「地元市民のための光」であることを、プロジェクトの核心として大切にされてきました。長年続けてきたからこそ、さらなる進化が求められていた時期、表現の方向性に加え、運用や体制までもゼロベースで見直すという大きな決断がありました。企画・施工管理を担う地元の広告代理店との連携により、藤枝の街に新たな息吹を吹き込む光のまちづくりが動き出しました。



#### イルミネーション 「上品さ」と「続けられる仕組み」



白色と電球色のイルミネーション

プロジェクトにおいて重視したのは、景観としての統一感と、長く続けていける運用方法でした。発光色は「白」と「電球色(ゴールド)」の2色に限定。以前の多色使いのイルミネーションから転換することで、駅前全体が「豪華になった」「上品で洗練された」という評価につながっています。また、耐久性の高い製品を購入するという判断も、大きな転換点でした。初年度に導入した製品をベースに、買い足しながら構成を更新していくことで、ランニングコストを抑えつつ、年々完成度を高めることが可能になっています。

#### イルミネーション LIMITEDがつくる、変化と記憶

藤枝駅南口には、樹木装飾に加え、LIMITEDシリーズも展開されています。大型モチーフによる視覚的なアクセントは、通りがかった人の記憶に残る存在となりながら、レンタルを活用することで、制作費や保管場所といった課題を解消しています。毎年「去年とは違う」と感じてもらえる変化を大切に、LIMITEDの展示はすべて新しいデザインに刷新されています。通り慣れた市民や常連の利用者が、いつも通る場所として毎日見ても楽しめる空間づくりが続けられています。



LIMITED : Horse



MK Illuminationのデザイン性からイメージして作ったクライアントオリジナル



LIMITED : Giraffe junior (手前) Majestic Stag (奥)

#### イルミネーション 美しい空間を支える、施工の質

デザインだけでなく、施工の質も重要な要素となっています。地元の広告代理店が全体を手がけ、駅前という公共性の高い空間において、安全性や見え方に配慮した施工が行われています。特に特徴的なのが、ストリングライトの施工です。発光の密度や均一さを意識し、通常より細かいピッチでLEDを敷き詰めることで、隙間のない光の広がりを実現しています。その仕上がりは、全国のイルミネーションを知る当社スタッフも驚くほどで、近くで見ても粗さを感じさせない、美しい光の空間が創り出されています。



施工の様子

#### イルミネーションがもたらした、藤枝駅南口の変化

藤枝駅南口にイルミネーションが灯ることで、駅前の風景だけでなく、人々の受け止め方にも少しずつ変化が生まれています。15年にわたり続いてきた取り組みの中でも、ここ3年ほどは「上品な印象になった」という声が聞かれるようになり、駅前の夜の景色そのものが、落ち着いた雰囲気へと移ろってきました。LIMITEDの展示が多い構成でありながら、発光色を白と電球色に統一することで、強い演出に頼るのではなく、駅前空間全体をやわらかく照らす光として機能しています。その結果、イルミネーションは特別なイベントとしてだけでなく、日常の延長線上にある風景として受け止められる存在となっています。通勤や通学、買い物など、いつもの動線の中でふと目に入る光が、駅前の夜に一定の明るさと季節感をもたらす。イルミネーションを設えることで、藤枝駅前は、人々が行き交うだけの場所から、冬の時間を穏やかに感じられる空間へと変化してきました。



駅前の様子

ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観

ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観

# SDGsを軸とした店舗「ファミマ!!」に導入された環境配慮型サイン



ファミマ!!麻布台ヒルズ店 (東京都)



## サイン SDGsにこだわる中で採用された、環境に配慮した独自開発サイン。

全国に1万6千店以上を展開しているファミリーマートが、リジェネレーション(再生)をテーマにCONVENIENCE×SDGsを軸とした新たなコンビニエンスストアとして開店されたのが「ファミマ!!麻布台ヒルズ店」です。内装に使用する素材にこだわっているだけでなく、Sustainabilityコーナーが常設されていたり量り売りコーナーもあったりと、フードロス削減に繋がる取り組みやサービスも行われています。そんなSDGsを軸とした店舗である「ファミマ!!麻布台ヒルズ店」に取り入れられたのが環境配慮型のLEDサイン「Re:SIGN」です。ここまでSDGsを軸とした店舗のため、ファサードに取り入れるサインも環境に配慮できるものを探されており、タカショーデジテックが製造している「Re:SIGN」にご興味を持っていただき、実際にネオンサインとして完成しました。



## 見た目が変わらず、環境にやさしいサイン「Re:SIGN」。



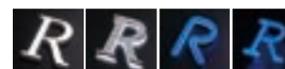
「Re:SIGN」は、サイン製造に使用する材料として、「リサイクルアクリル」「水性塗料」「鉛フリーはんだ」の3つを環境にやさしい素材として採用しているLEDサインの仕様です。LEDサインの素材としてよく用いるアクリルを「リサイクルアクリル」にすることで、製品ライフサイクルでの温暖化ガス排出量(GHG)を60%削減し、サインの表面に施す塗装を「水性塗料」にすることで油性塗料を用いるよりもVOC(揮発性有機化合物)排出量を90%以上削減しています。また、人体にも水環境にも悪影響を与えられている鉛を一切含まない「鉛フリーはんだ」を用いることで、水質環境だけでなく労働環境の改善にもつながっています。またこれだけ環境にやさしい素材を採用していても、従来のLEDサインと変わらない光をご提供できるのが「Re:SIGN」の大きな魅力です。「Re:SIGN」は意匠性や視認性は変えずに地球環境や労働環境を改善する製品で、2023年度のグッドデザイン賞を受賞しました。

見た目も明るさも変わらない



通常仕様  
Re:SIGN仕様  
-リサイクルアクリル使用  
-水性塗料使用  
-鉛フリーはんだ使用

対応商品



全16商品

対応カラー



全6カラー

リサイクルアクリル使用



CO<sub>2</sub> 排出量  
\*温暖化ガス  
**60%以上削減**

水性塗料使用



VOC 排出量  
\*PM2.5や光化学スモッグの原因  
**90%以上削減**

鉛フリーはんだ使用



鉛 排出量  
\*水質汚染物質・人体への影響  
**100%以上削減**

### 環境配慮型サイン「Re:SIGN」ができるまで



# 光の演出で、 まちの賑わいを取り戻す



## 帝国座テラス (和歌山県)

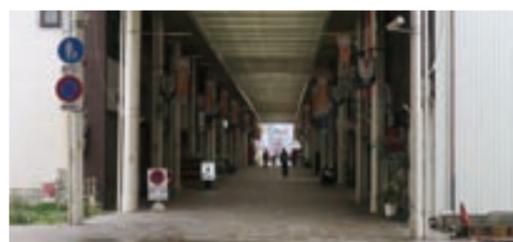


詳しい内容はこちら

照明ディレクター  
花田諒 (タカショー デジテック)

### 名所を「活かす」ライティング。まちづくりから始まった計画

かつて、和歌山・ぶらくり丁で多くの人が足を運んだ映画館「帝国座」。週末もなれば人が行き交い、待ち合わせや食事、娯楽が自然と集まる場所でした。しかし、時代の流れとともに人々の生活様式は変わり、街の中心だったぶらくり丁も次第に静かになっていきます。建物はバブル以前に建てられたこともあり、維持管理の負担も大きな課題となっていました。この場所をどう活用していくべきか—検討が重ねられる中で浮上したのが、駐車場としての活用案でした。しかし、それはあくまで「効率的な解決策」であり、街の未来を描く答えではありませんでした。



近年のぶらくり丁の様子

そこで、ビルメンテナンス・不動産事業を手がける株式会社南北様を選んだのは、「壊す」のではなく「活かす」という道でした。目指したのは、かつての帝国座の記憶を受け継ぎながら、ぶらくり丁にもう一度人の流れを生み出すこと。そのためキーワードが「水辺」と「まちづくり」でした。川沿いという立地は、視点を変えれば大きな魅力になります。水面を眺めながら過ごす時間、風を感じながら会話を楽しまむひととき。そうした“滞在する価値”を持つ場として再生されたのが、「帝国座テラス」です。単なる商業施設ではなく、まちづくりに共感する店舗や人が集うことで、少しずつ賑わいが戻り始めています。このプロジェクトは、施設単体ではなく、街全体の未来を見据えた取り組みでもあります。



### 人に寄り添い、立ち止まりたくなる光へ

照明計画のご相談をいただいたのは、設計事務所による間取りが固まり、ある程度予算感が見えてきた段階でした。限られた条件の中で、私たちがまず考えたのは「どのような光が、人の行動を変えるのか」という点です。最初にご提案したのは、「賑わいを創出する照明計画」を前面に押し出したプラン。人に寄り添い、訪れた人が心地よさを感じ、思わず立ち止まりたくなるような光の在り方を重視しました。もう一つは、予算内に抑えつつも、その考え方をできる限り反映させた現実的なプランです。結果として採用されたのは後者でしたが、「人に喜んでもらえる光」「また来たいと思える空間をつくる」という軸は一切ぶれていません。照明を単なる設備ではなく、空間体験を支える要素として捉えることが、この計画の出発点でした。



実際提案した照明計画書(一部抜粋)

### ライティング 水辺の暗さを味方にして、滞在を生む光づかい

帝国座テラス周辺は、街として一定の明るさが確保されています。そのため、単純に照度を上げるのではなく、光の「見せ方」に重点を置きました。植栽はシルエットライティングで浮かび上がらせ、光と影のコントラストを強調。床置き可能なマリンライトを取り入れることで足元にきらめきを加え、空間全体に華やかさを与えています。キラッとした点光源が視線を引きつけ、自然と人の動線を奥へと導く効果を生み出します。さらに、サバンナ効果を意識した光の配置により、「次の景色が気になる」奥行きのある空間を演出しました。壁面だけでなく、足元や視線の先まで含めて計画することで、夜でも安心感と期待感を両立させています。

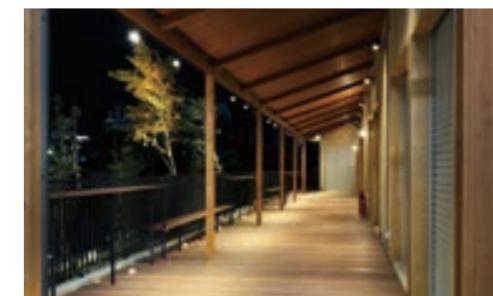


シルエットライティング

サバンナ効果

### ライティング テラスという“滞在の場”に光を。

帝国座テラスの象徴ともいえるテラス空間は、「通り抜ける場所」ではなく「過ごす場所」。その考えのもと、照明計画も滞在性を重視しています。軒下にはレールライトを設置し、柔軟なライティングが可能な構成に。デッキ部分には施設・店舗対応のトラストタイプのデッキライトを採用し、屋外空間でも安心して使える明るさと耐久性を確保しました。加えてスポットライトを組み合わせることで、夜間でも表情のある空間をつくり出しています。灯具のカラーは、建物のフェンスや柱に合わせてブラックで統一。光だけが際立ち、器具が主張しないよう配慮しました。



テラスのライトアップ

### 光が生んだ、まちの変化。



施工後、帝国座テラスを訪れると、テラス席で飲み物を片手に談笑する若いグループの姿がありました。「テラスでこんな風に飲めるの、いいね」——その何気ない会話こそが、このプロジェクトの成果を物語っています。光があることで、人は立ち止まり、腰を下ろし、時間を過ごすようになります。照明は空間を照らすだけでなく、人の行動や感情にそっと寄り添う存在です。帝国座テラスは、光の力がまちに新たな日常を生み出すことを示してくれました。賑わいを創出し、記憶を受け継ぎ、未来へとつなげていく。この場所は、そんな可能性を感じさせるプロジェクトとなっています。

# 古道歩きの里「ちかつゆ」を トータルプロデュース。



## 古道歩きの里ちかつゆ (和歌山県)



詳しい内容はこちら

照明ディレクター  
花田諒(タカショーデジテック  
Creative Lab.)  
ブランディングデザイン  
斎藤勝美(タカショーデジテック  
Creative Lab.)

### ライティング 和のやわらかさを「光」で

駐車場を囲むように一直線に建物が並ぶ「ちかつゆ」。そのまっすぐさを強調するため、軒下に間接光を一直線に取り入れたライティングに。直接的な光ではなく間接光にしたことで、光の質がやわらかくなり、施設全体を和の落ち着いた印象に仕上げています。

全体をやわらかくライトアップすることを意識して、あえて天井をスポットライトで照らし、天井から跳ね返った光で空間にやさしい灯りを落とすようにしています。また、施設全体の「和」のテイストに合わせ、足元を照らす光として和風照明を設置しています。



施設を一直線に繋ぐ「ラインの光」



天井を照射した反射光でやわらかく照らす

「和」を演出する照明

### ロゴデザイン 「熊野」をイメージしたプロモーション

2022年の8月末にリニューアルオープンしたこちらの施設のグラフィックデザインやプロモーションを手掛けました。メインビジュアルの熊野古道の聖地巡礼の地である近露を意識し、施設全体のキーとなるロゴには「八咫鳥(ヤタガラス)」を採用しました。ビジュアルは手書き風でやわらかい印象に仕上げています。



デザイン画



実際のちょうちん

### サイン計画 WEB制作 プロモーションから細かなデザインへ

施設内の店舗のロゴもイメージを統一したものに。それぞれのロゴは、お店の入り口ののれんにも描かれ、やさしい和の雰囲気が伝わるデザインに。また、案内サインも施設全体の雰囲気にまともりが生まれるデザインに仕上げています。その他、ノベルティや、情報発信のためのWEBサイトまで、タカショーデジテックで手掛けています。



各施設のロゴをデザイン

案内サイン



WEBサイト

ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観

ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観

# CASE 自然・景観

自然や景観に光の息吹を吹き込む。

## 海辺の秘境「矢櫃」の今を光で伝える。



iFデザインアワード2024受賞  
第57回日本デザイン賞 銅賞 受賞  
日本空間デザイン賞2023 銅賞/サステイナブル空間賞 受賞



詳しい内容はこちら

### 矢櫃 (和歌山県)

照明ディレクター  
花田諒 (タカショー・デジテック Creative Lab.)

#### 企画 和歌山県の海辺の集落「矢櫃」、空き家と人口減少への問題提起。

地域の人口は144人と、和歌山県・有田市の中でも秘境と言っても過言ではない海辺の小さな集落「矢櫃」は、海に面した山の斜面に、いくつもの家々が建ち並ぶ美しい街並み特徴です。交通面が不便であるからこそ守られてきた素晴らしい環境と美しいロケーションが魅力である反面、不便ゆえに人口減少の問題も抱えています。そんな矢櫃の現状を届けるメッセージとして行ったのがシークレットのライトアップイベントでした。



昼間の矢櫃

ライトアップイベントを行うといっても、矢櫃は今も人々が生活を送っている場所。住民の方々に迷惑がかかってしまうのでは意味がありません。今回のライトアップイベントの目的は矢櫃の魅力と今の姿を知ってもらうこと。そのため、イベント自体はシークレットで行い、その様子を世間に発信することにしました。今回のイベントをきっかけに矢櫃で何か取り組みたいと思ってもらえればという想いが込められています。



インスタレーションを楽しむ人々

#### ライティング 様々なカラーのライトアップで、矢櫃の美しさと問題を表現。



海のみしさ

山地形

夕暮れ

夜



人々の暮らしの灯り

矢櫃の魅力を表現したライトアップ

空き家だけを照らした現状の寂しさ

人口減少への危機感

ライトアップのプログラムにより空き家だけを光らせることで現状の地域課題について発信するとともに、全体のライトアップでは、陸と海、ライティングと星空、昼と夜などさまざまなシーンの対比でこの場所の価値を発信しました。

# 白良浜 (和歌山県)



照明ディレクター  
甲斐淳一(タカショーデジテック)

## オフシーズンをオンシーズンへ リゾート地の新たな集客を創出。



企画 **ライティング** 620mの白砂の浜を光と音で彩る。

関西の夏の行楽地として親しまれている白良浜海水浴場。夏場は多くの観光客が訪れるリゾート地ですが、秋以降冬のオフシーズンには観光客の減少を大きな課題としていました。そんな中、白良浜のライトアップを企画。「白浜のシンボル白良浜の真っ白な砂をライトアップし秋冬のビーチを眺め、そして光に集まった人々に町なかを散策していただく」ことで新たな観光の創出をご提案いたしました。南紀白浜観光協会、白浜町商会、白浜温泉旅館協同組合、白浜町が一体となって、秋冬の白良浜の活性化に取り組みました。「SHIRARAHAMA LIGHT PARADE by FeStA LuCe」は、冬の白良浜を舞台に2023年から毎秋冬開催。音楽に合わせた大規模なライトアップはライティングプランから施工まで一貫してプロデュースしました。このような大規模なプロジェクトも、光のプロ集団であるタカショーデジテックだからこそ実現することができます。「人は明るいところに集まり、そこで出会いが生まれ、街に活気が生まれる」。新たなリゾート地の冬の風物詩として、「光」による新たな集客プロジェクトが動き出しています。



# 光で伝える、和歌の浦の魅力

**ライティング** 水面に映る光の美、和歌の浦の新たな魅力を発見。

和歌の浦誕生1300年を祝うイベントとして、2024年10月に「和歌の浦 誕生千三百年記念大祭」が開催され、我々はその一環として光の演出を手掛けさせていただきました。和歌の浦 誕生千三百年記念大祭ライトアップは、和歌の浦の象徴的な遊歩道を照らし、地域の自然や歴史を新たな形で感じてもらうことを目的に、イベントの2週間前から当日まで、遊歩道を中心にライトアップを実施。提案時には特に水面に映る光にこだわり、RGB照明を活用し、四季の移ろいや自然豊かな「和歌の浦の山と干潟」や夕陽百選にも選ばれた「夕暮れの美しさ」をテーマに取り入れ、約3分間の光の演出を行いました。色鮮やかな演出は、見に来てくれた方に驚きと感動を与え、和歌の浦の魅力を新たな視点で楽しんでいただけました。また、撤去後には「常設してほしい」といった声も寄せられるなど、多くの方に喜んでいただけました。



演出プログラム

演出ストーリー



潮の満ちていく様子

夕暮れの美しさ



春

夏



秋

冬



和歌の聖地

景観・文化の魅力

# 和歌の浦 (和歌山県)



照明ディレクター  
花田諒(タカショーデジテック)



動画にて確認

ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観

ホテル・旅館

寺社・旧跡

イベント会場

施設・店舗

自然・景観

# 光のまちづくりの流れ

ご相談からプラン計画、施工、アフターフォローまでトータルでサポートいたします。

## お電話・メールにて承ります

「光のまちづくり」について、また照明、イルミネーション、LEDサインなど、企画のご相談から具体的な製品の導入まで幅広く承ります。

〈お問合せ先〉

お近くの営業オフィス、またはWEBサイトよりお問合せください。

営業オフィス一覧

P.78



WEBサイト

## アドバイザーによる現地調査サポート

ご要望に応じて専門スタッフが現地調査に伺い、施工環境や周辺条件を確認いたします。現地で得た情報をもとに、最適なプランをご提案いたします。



図面確認

現場調査

## 専門スタッフによる施工

ご提案した計画に基づき、専門知識と豊富な経験を持つスタッフが、品質と安全に配慮しながら責任を持って丁寧に施工いたします。



屋外照明施工

イルミネーション施工

〈その他、あらゆるプロモーションもサポートいたします〉

## 新規事業やリノベーションで必要となるあらゆるツールのご提案

タカショーデジテックには、様々なデザイン部門があります。新規事業やリノベーションで必要となるあらゆるツールのご提案が可能です。



WEB制作



ロゴデザイン



空間デザイン



一貫してサポート

## 完成イメージや図面を作成し、ご提案いたします

ヒアリングや現地調査をもとに、最適な光のアイテム選定と照明計画をご提案いたします。

光のアイテム



計画図の他、完成を具体的にイメージいただけるようCGパースもご提案いたします。



計画図

CGパース

## メンテナンスに対応 ※要別途ご契約

設置後のメンテナンスに対応いたします(要別途ご契約)。保証期間もございますので、安心してご利用いただけます。



屋外照明

保証期間  
3年



※LED光源のみ

イルミネーション

保証期間  
1年



LEDサイン

保証期間  
3年



※規格外、一部商品は1年

## 補助事業を活用したご相談

補助事業を活用し、地域資源の魅力を最大限に引き出しませんか。タカショーデジテックでは、企画立案から設計・施工・運用支援、補助金活用に向けた申請サポートまでワンストップでご提供します。「何から始めればよいか分からない」という段階でも、お気軽にご相談ください。

※補助金の申請主体はお客様ご自身となりますが、制度活用にあたってのご相談やアドバイスなど、状況に応じてお手伝いいたします。



お問い合わせはこちら

# 屋外照明 LIGHTING



屋外照明WEBサイトは  
こちら



## 多様な屋外空間に対応する製品力、 一貫した自社管理

屋外環境下でも安心して使える製品を、企画から製造まで一貫した社内体制で製作。ガーデンアップライトやボールライト、ウォーターライトなど多彩な照明で、あらゆる屋外シーンに対応します。屋外ライティングに精通した照明プランナーが、環境条件を踏まえ、安全性と美しさを両立する最適な照明計画を提案します。

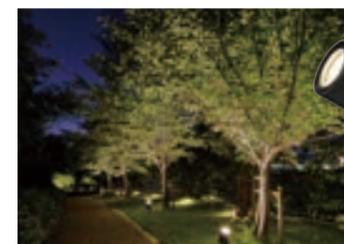
## 屋外環境化に対応する製品を 一貫体制で製作

屋外環境下でも安心して使用できる安全で高品質な製品を作りだすため、企画から製造まですべての工程を社内で行なっています。完成までの一連の流れを社内連携しプロダクトへの考えを共有することで、信頼性と完成度を備えた製品を提供しています。



## すべての屋外シーンに応える屋外照明

樹木を美しく照らすアップライト、空間に安心感をもたらすボールライト、プールにも使用可能なウォーターライトまで、多彩な照明ラインアップであらゆる屋外空間に対応。過酷な気象条件にも耐える高い品質と安全性で、景観と機能性を支えます。



ガーデンアップライト



ボールライト



ウォーターライト



商品数 ※現行品のみ

約 **1500** アイテム



## 照明プランナーによる計画

屋外ライティングに特化してきた経験と知識をもつ照明プランナーが、環境条件、利用シーンなど、屋外空間ならではの課題に応える最適な照明計画を提案します。屋外空間に求められる安全性と美しさを両立します。



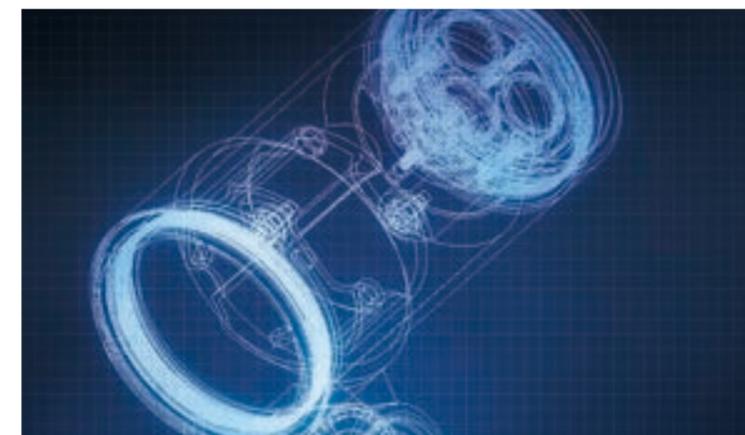
## 照明計画

照明プランナーが、空間の特性や用途を的確に読み取り、光の配置・明るさ・演出を計画。安全性と美しさを両立させた、完成度の高い照明計画を提案します。



## カラーライティング提案

通常の照明設計にとどまらず、プログラミングを活用したRGB照明の演出にも対応。時間やシーンに合わせて光を自在に制御し、空間の個性やこだわりを美しく、印象的に再現します。

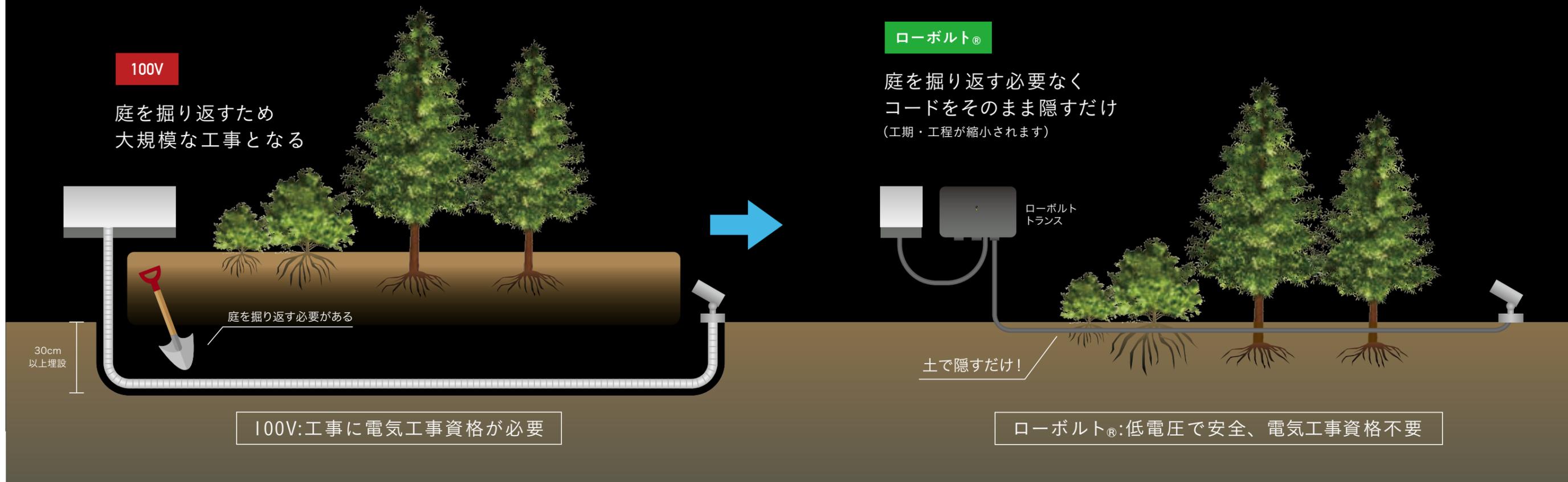


## 特注照明の製作

多様な空間に対応するオリジナル製品の開発についても対応が可能です。社内スタッフと打ち合わせの上、サンプルによる検証などを経て、細部まで丁寧に検討を重ねながら形にしていきます。

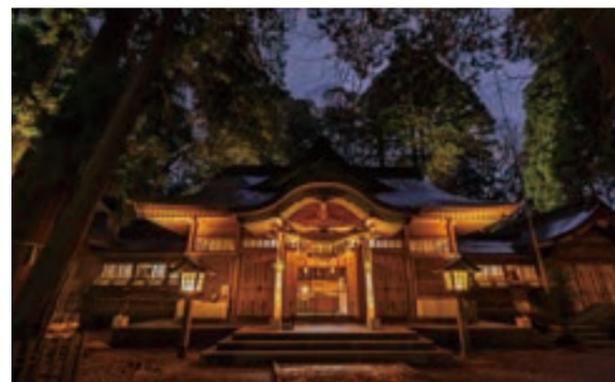
# ローボルト®システム

ローボルトトランスを使用して、電圧を 24V の低電圧に変換する照明システムです。漏電や火災、感電のリスクを大幅に抑えた高い安全性が特徴です。電気工事士の資格がない方でも設置やメンテナンスが可能です。



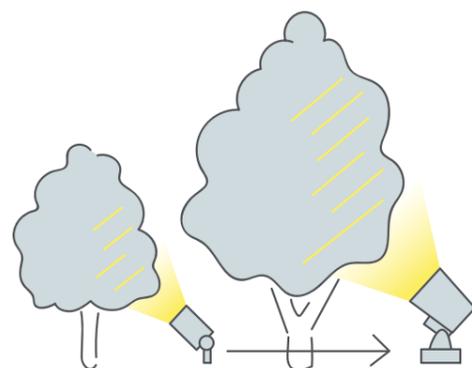
## 木造建築など重要な建築物にも トランス制御で安心

トランス制御により電圧を低電圧に変換するローボルト®システムは、感電や漏電、火災のリスクを大幅に低減します。木造建築や文化財など安全性が求められる重要な建築物にや水回りの環境などに、安心して使用いただける照明システムです。



## 植栽の成長に応じて、 照明の追加や位置変更がスムーズ

植物の成長に伴い、ライトアップに最適な光量や位置も変化します。ローボルト®システムは、コードを直接、土に埋設しているため、施工後の器具の増設、配置変更も柔軟に対応するので、最適な景観を維持することが可能です。



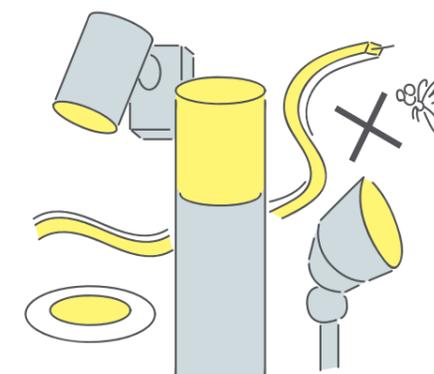
## 作業工程が少なく、 施工費用が抑えられる

ローボルト®システムは電気工事士資格がない方でも施工が可能。100Vと比較して安全なため、電源線の敷設時も地面を掘り返す必要がなく、コードに軽く土を被せるだけで OK。作業量が少なく短時間で済むため施工費用を抑えられます。



## 省エネ性能に優れた、 100%LED 照明

ローボルト®システムは 100%LED 製。LED は、昔使われていた白熱電球の約 1/10 のわずかな電気代しかかからず、蛍光灯のように虫を寄せる光の波長を含みません。エントランスや食事空間にも気兼ねなくご使用いただけます。



# イルミネーション ILLUMINATION



イルミネーションWEBサイトは  
こちら

## 世界中で愛される イルミネーション

MK Illuminationの製品は約30年の歴史の中で、世界120ヵ国以上で使用されています。その経験や顧客要望に基づき、改善を重ね、他のイルミネーションとは一線を画するPROFESSIONAL LINEとして世界中のプロのために開発され、採用されています。そこには、常に業界をリードし続けることができる確かな理由があります。



## 世界で選ばれる品質と光、 プロが選ぶ施工性

北はノルウェー、南はアフリカまで、世界各地の過酷な気候で培われた高品質なイルミネーション。独自開発のLEDが生み出す美しい光と高い長寿命、さらに特許取得のQuickFix™による優れた施工性で、世界中のプロフェッショナルに選ばれています。



## 豊富なラインアップ

樹木に巻きつけるストリングタイプから、モチーフタイプやロープタイプ、環境に配慮したイルミネーションなど豊富なラインアップ。光の表現力で、樹木も建築も空間も、印象的な光で彩ります。



## イルミネーション デザイナーによる計画

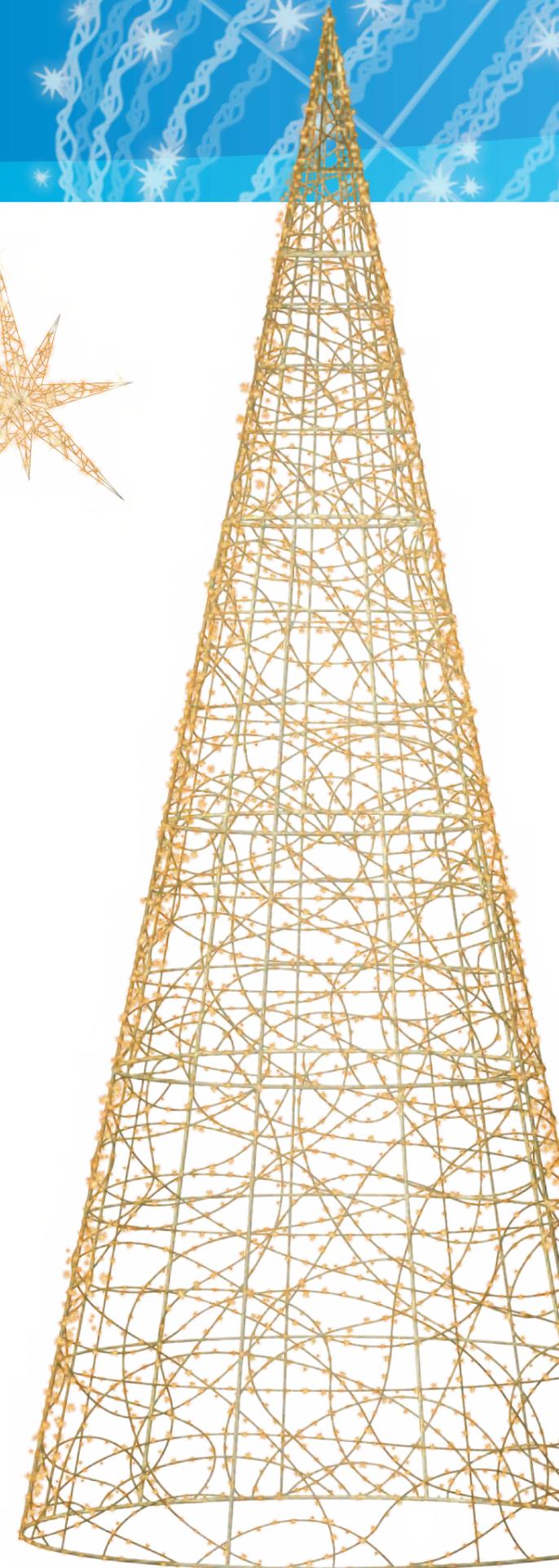
小規模な演出から大規模なイルミネーション、街路樹や都市空間まで。現場ごとの条件やご要望を的確に読み取り、豊富な実績を持つイルミネーションデザイナーが最適な演出を提案します。空間特性や動線、視認性まで考慮し、記憶に残る光の景観を創り上げます。



完成後のイメージが具体的に思い描けるCGパース

## LIMITED LINE

受注生産品の大型イルミネーション「LIMITED LINE」。アニマル、ツリー、オーガニック、アーチ、オーナメントなど、豊富なバリエーションで、空間に合わせた印象的な演出が可能です。



# LEDサイン LED SIGN



LEDサインWEBサイトは  
こちら

## 一貫した社内体制から生まれる 品質と対応力

30年以上の経験で培った高品質。LEDの厳選と独自開発アクリルで美しい光を実現、社内一貫体制でお客様のデザインを再現します。現場や要望に応じた多彩なサインに対応、環境にも配慮したLEDサインの開発にも取り組んでいます。

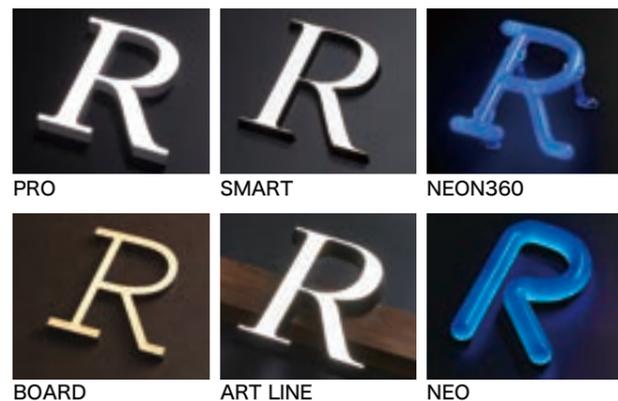
## 30年以上の経験、 品質と対応力から生まれる LED サイン

30年以上の経験とこだわりが生む高品質。LEDの徹底した選別と独自開発のアクリルで光を美しく拡散して作られるLEDサイン。また充実した製作設備を備え、お客様が思い描くデザインの再現性を追求したLEDサイン製作が可能です。



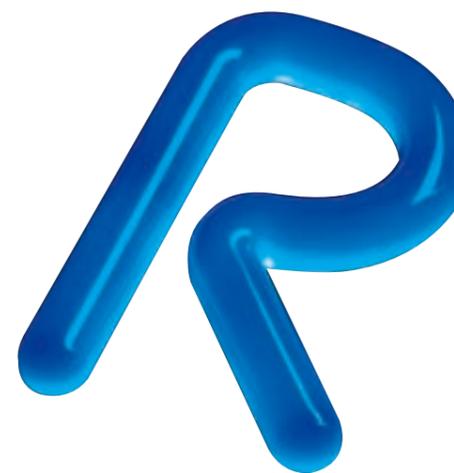
## 施工性、価格帯、大きさ、 あらゆる希望に対応するラインナップ

用途ご予算に応じた幅広い価格帯を揃え、サイズ展開も小型サインから大型サインまで充実しています。デザインや仕様の自由度が高く、空間・業態・演出意図など、あらゆるご要望に柔軟に対応できるラインナップが強みです。



## 環境へのこだわり

リサイクルアクリル・水性塗料・鉛フリーはんだを採用し、環境負荷の低減と安全性を両立したLEDサイン「Re:SIGN」。水質環境への配慮はもちろん、働く人の健康にも目を向け、持続可能なものづくりを目指しています。



## デザイナーによるロゴ製作やサイン計画

社内デザイナーが在籍し、ロゴデザインからサイン計画まで一貫対応も可能です。空間やブランド価値を高める最適なサインを提案します。





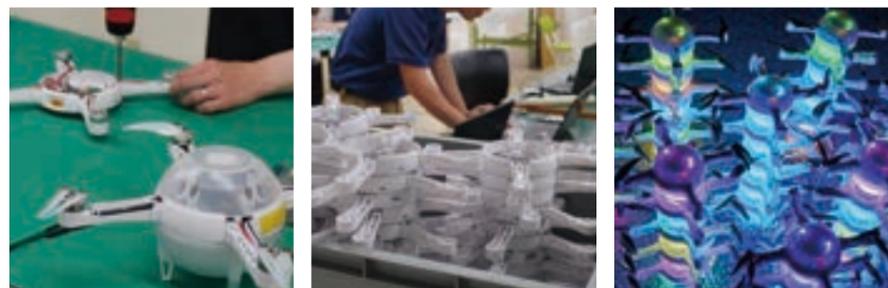
## 株式会社ドローンショー・ジャパンと 技術提携で夜空を彩る

国内外で産業用ドローンの社会実装が進み、さらにエンターテインメント領域でも夜空を彩るドローンショー需要が急増していることを受け、エンタメ用途に特化した株式会社ドローンショー・ジャパン独自のドローン機体開発技術と弊社のライティング技術を融合させ、機体の量産及び世界最高水準の機体の共同開発を目指します。



## 唯一の国産ドローンショー専用機体「unika (ユニカ)」

「unika (ユニカ)」は株式会社ドローンショー・ジャパンが開発する国産のドローンショー専用機体。ドローンには珍しい丸い可愛いフォルムが特徴的です。



## ガーデニング・ エクステリアの 総合メーカー 「Takasho」

株式会社タカショーは、庭園・エクステリア分野を中核に、屋外照明やガーデン資材、空間演出までを企画・開発・製造・販売まで一貫して手がける総合メーカー。住宅から商業・公共空間まで、屋外の価値を高める提案力で国内外に展開しています。



株式会社タカショーの  
WEBサイトはこちら



## 建材、ファニチャーなど屋外商品にも対応

グループネットワークを通じて、意匠性と耐久性を兼ね備えたフェンスやデッキなどの建材、屋外での快適性を高めるガーデンファニチャーなどを提供が可能です。



ウッドデッキ



ルーバー



和風フェンス



パーゴラ



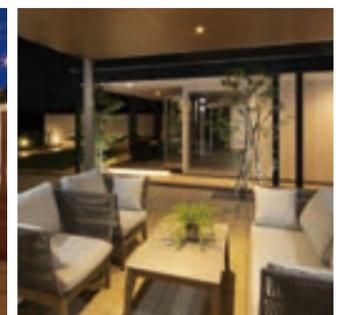
壁面装飾パネル



人工植物



シェード&パラソル



ガーデンファニチャー

## 会社案内



コーポレートサイト

株式会社タカショーデジテック

VISION

光の演出で人の心を彩る

PURPOSE

今ある光の入れ替えではなく  
今暗いところに光を灯す



代表取締役社長 古澤 良祐 挨拶

光やデジタル技術を活用した製品・サービスを通じて、より豊かで魅力的な屋外空間の実現を目指しています。企画・開発から提案・施工支援に至るまで一貫した体制で、お客様の理想の空間づくりをサポートいたします。

設立 2004年11月

従業員数 176名 (内正社員 115名)  
第一種電気工事士有資格者 2名  
第二種電気工事士有資格者 25名

- 事業内容
1. LEDを使用した大型サインから銘板の開発・企画・製造・販売
  2. 商業施設におけるサイン・照明の開発・企画・製造・販売
  3. エクステリア・ガーデニングにおける照明の開発・企画・製造・販売
  4. 寝装品、インテリア商品(カーペット・クッション・カーテン・テーブルクロス等)のデザイン及び販売

(2026年2月時点)

株式会社タカショーデジテックは、東京証券取引所スタンダード市場上場の株式会社タカショーのグループ企業です。グループの開発力・供給力・ネットワークを活かし、最適な屋外空間づくりをご提案いたします。



## 全国ネットワーク 拠点・ショールームのご紹介

全国に拠点を展開しているタカショーデジテックは、各拠点からお客様のご要望に対する幅広いご提案やご相談にお応えすることができます。

<p>東京本社 (※)</p> <p>TEL.03-6435-2382</p>	<p>和歌山本社・工場 (※)</p> <p>TEL.073-484-3618</p>	(※) はショールーム併設
<p>大阪オフィス (※)</p> <p>TEL.06-6940-7911</p>	<p>仙台オフィス</p> <p>TEL.080-4075-5907</p>	
<p>名古屋オフィス</p> <p>TEL.090-6370-9635</p>	<p>滋賀オフィス</p> <p>TEL.077-566-3544</p>	
<p>奈良オフィス</p> <p>TEL.0745-43-7399</p>	<p>福岡オフィス</p> <p>TEL.090-9220-8106</p>	



### 〈ショールーム〉

<p>東京品川 ショールーム</p> <p>東京都港区港南 2-16-4 品川グランドセントラルタワー 2F タカショー品川ショールーム内 TEL.03-6435-2382</p>	<p>大阪オフィス ショールーム</p> <p>大阪府大阪市西区江戸堀 1 丁目 5-16 JMフビル 肥後橋 01 2F TEL.06-6940-7911</p>	<p>和歌山本社 ショールーム</p> <p>和歌山県海南市南赤坂 20-1 TEL. 073-484-3618</p>
--	--	--

株式会社タカショーのショールームでもご確認いただけます。

<p>首都圏ショールーム</p> <p>埼玉県戸田市新曽 1973-1 TEL. 048-229-9838</p>	<p>大阪ショールーム</p> <p>大阪府箕面市粟生外院 1-14-29 TEL. 072-734-8628</p>	<p>名古屋ショールーム</p> <p>愛知県名古屋市緑区徳重 3-2317-1 TEL. 052-879-0328</p>	<p>広島ショールーム</p> <p>広島県東広島市八本松東 3-1-3 TEL. 082-497-1020</p>	<p>九州ショールーム</p> <p>福岡県筑後市野町 367 TEL. 0942-52-1812</p>
<p>東北ショールーム</p> <p>宮城県仙台市宮城野区 岩切分台 3-13-6 TEL. 022-396-2150</p>	<p>北陸ショールーム</p> <p>石川県金沢市古府 1-84 TEL. 076-214-3777</p>	<p>新潟ショールーム</p> <p>新潟県新潟市西区 流通センター 2-2-2 TEL. 025-264-4155</p>	<p>横浜ミニショールーム</p> <p>神奈川県横浜市都筑区中川中央 1 丁目 30-1 プレミアヨコハマ 6 階 TEL. 045-914-8067</p>	<p>北関東ミニショールーム</p> <p>群馬県前橋市今井町 138-6 TEL. 027-280-7220</p>

担当者による説明やご要望などある場合はご予約いただけるとスムーズです。 休館日や開館時間はホームページよりご確認ください。

## 「エコ・ファースト認定企業」として、地球環境を守ります。

2023年4月、タカショー デジテックは環境省から、エコ・ファースト企業として認定されました。5つの約束をこれからの取り組みとして、地球環境・社会に貢献できる企業活動を推進していきます。

これからの取り組み 5つの約束

地球温暖化の防止	循環型社会の形成	「選べる人材」の育成	自然共生社会の実現	ステークホルダーの行動変革
----------	----------	------------	-----------	---------------



## 庭の光の専門家 ライティングマイスター

「プロの庭照明」を育成、屋外照明のテクニックやセンスの向上、ビジネスの可能性を拡げる養成講座。2010年の開催以来、全国各地で研修会を開催してきました。2020年からはオンライン研修をスタートさせ、時間や場所を気にせず、いつでも、どこでもお庭の光についての知識を学ぶことができる講座となっています。



満足度 **96.9%** 受講者数 **3,628社**  
**9,288名**

マイスターオンライン受講者アンケート結果 2025年12月時点